

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会

平成30年度社会福祉法人 西予市野城総合福祉協会事業報告書

はじめに

平成30年7月豪雨により、西予市はこれまでに経験のない甚大な被害を受けました。当法人におきましても施設の裏山の崩落、床上浸水、事業所の水没等、多くの被害を受け利用者の方々に多大なご不安、ご迷惑をおかけしましたが、西予市はじめ多くの関係者のご支援ご協力をいただき、事業の継続をすることが出来ています。

地域においては、これまでの少子・高齢化、人口減少等における様々な課題に加えて、災害による課題が複雑に折り重なっています。地域の皆様がこの災害から一日も早く元気を取り戻していただくため、関係機関と協働しながら、社会福祉法人が持つ施設（場所）と専門職（人材）といった特性を十分發揮し、地域に貢献したいと考えます。

改正社会福祉法では、一定の事業規模を超える法人に対して、会計監査人による監査を義務付けられています。会計監査人の導入は、改革の柱の一つであり、しっかりと監査体制を構築し、社会福祉法人への信頼を確立するとともに、法人の経営力強化・効率的な経営、ガバナンスの強化、財務規律の強化を図ることが重要とされました。

平成30年度の決算では、収益（事業活動計算書における活動収益）が20億円を超え、段階的に会計監査人を導入する社会福祉法人規模に達しました。現在は、設置義務対象基準の延期のため会計監査人導入については、厚生労働省の動向を注視しているところです。

このことは、少子高齢化、人口減少が著しい野村地区・城川地区を拠点する社会福祉法人として、地域に必要なサービスの提供を行う大きな役割と責任を担っていると考えます。

法人職員の5割が50歳を超えており現状の中で、当法人の主たる施設系サービスを提供する事業をいかに継続していくか大きな課題になってきています。経営基盤の足元をしっかりと固めつつ包括的な地域福祉サービスの構築に目を向けていきたいと考えます。

そのために平成30年度は、「人材の確保」「定着」「育成」に取り組みました。成長支援制度を仮運用し、試行錯誤しながら制度の構築を行いました。法人のビジョン達成のための目標設定、職務の割当て、期待する職務行動、スキルを明確化し、職員の仕事の成果や能力を適正に評価し、それに対応する等級への格付け、報酬、教育訓練等を行い、職員が専門能力を発揮できる環境を整備しました。特に人材育成やチームの評価者としての役割を担う指導監督職格の配置を充実させることができました。こういった成長支援制度により待遇改善やキャリアパスの整備をおこなったが、まだまだ職員への浸透は十分ではなく意識の高揚には時間がかかります。今後も魅力ある職場を目指し、人材の確保、定着に努めます。

関係機関との連携としては、特に7月の豪雨災害時の協力体制を築くことが出来ました。今まで、西予市の5社会福祉法人の連絡会や地域包括ケアシステム人材育成事業への参加などにより、情報の共有を図り、協働した事業を実施していた関係作りが少しずつ実り始めたと感じました。ボランティアセンターへの参加、地域包括支援センターとの連携支援等、手を取り合った地域支援ができたと思います。

地域社会におけるセーフティネットを構成する社会資源として、地域にくらす人々に安心をもたらし、信頼される社会福祉法人になるためには、職員一人ひとりが尊厳を守るサービスの実施を意識することが不可欠だと思います。思いやりの心で、お互いに支え合うことが出来る生活・地域環境や職場環境が大切であり、法人の理念である「共生～ともに生きともに育つ～」を再認識した年度でした。

1 基本理念

- 共生～ともに生きともに育つ～

2 基本方針

- 私たちは利用者の尊厳を大切にしともに歩みます
- 私たちは家族との絆をともに深めます
- 私たちは夢を持ち笑顔でともに邁進します
- 私たちは安心して暮らせる地域社会をともに築きます
- 私たちは法令を遵守し信頼される法人をともに目指します

3 平成30年度重点目標達成状況

① 平成30年度開始の成長支援制度の運用により職員一人ひとりの成長を支援し、法人の組織力の向上を目指します。

平成30年度から導入し、人材育成制度、人事考課制度、処遇制度、昇進昇格制度の4つの制度の整合性を取りながら運用することが出来ました。

効率化を図るためスケジュールの管理を行い、各施設を巡回しフォローアップしていくきました。成果として指導監督職等、昇格に人事考課制度を取り入れ充実させました。今後も修正や調整をしながら、よりよい制度にしていきます。

② 法人の「経営理念」「あるべき将来像」「期待する職員像」を明確化し職員に浸透、共有を図ります。

研修会や、各施設へ出向いての説明会や施設長補佐等で構成する成長支援度委員会等で制度運用の検討を行い、職員への周知を行いました。「経営理念」については、職員会等で各施設周知を行っています。「あるべき将来像」「期待する職員像」は指導監督職、管理職にアンケートを実施し、意見を集約して明確化しました。項目が多いため職員への浸透は十分にできていない状態です。解りやすくシンプル化し、意味を理解し行動に移すことが出来る「あるべき将来像」「期待する職員像」にしていきます。

③ 中長期計画実践に取り組みPDCAサイクルを機能させ継続的な経営改善に繋げていきます。

第3期中長期策定1年目で具体的な取り組みなどのプランを作成しました。豪雨災害もあり、見直しを十分に行うことが出来ませんでした。令和元年度は、目標を達成し継続的な経営改善に向けて修正を加えながら実践していきます。

④ 養護老人ホーム奥伊予荘の平成31年度特定施設入所者生活介護事業への移行に向けて準備を行います。

平成31年4月1日から特定入居者生活介護事業所奥伊予荘を開始することが出来ました。サービスの充実、経営の安定化に向け努めています。

⑤ 地域における公益的な取組として、平成30年度から法人後見事業を開始し定着に向けたシステムを構築します。

平成30年度の受審件数は0件でした。認知症、知的障害、精神障害などにより物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。法人単独ではなかなか推進することが難しかったため、行政や社会福祉協議会、他の法人後見受審法人に働きかけニーズを把握し、西予市としての取り組みについて情報の共有と、今後の在り方について協議していきます。

⑥ 地域共生社会に向け関係機関との連携を深め、地域ニーズを把握し地域における公益的な取組を深めていきます。

西予市の5社会福祉法人の連絡会や地域包括ケアシステム人材育成事業への参加などにより、情報の共有を図り、協働した事業実施を行うことが出来ました。法人の公益的な取組については、「10 平成30年度地域における公益的な取組」に記載しています。

⑦ 障害者支援施設野村育成園の建替に向けて準備を進めます。

育成園の建物は築38年となりました。建物の耐用年数は39年です。利用者の高齢化、重度化等に対応するため居室やトイレ等の改修工事を行い、生活環境の改善を図りながら耐震化による大規模修繕を進め、必要な既存施設の機能の維持を図ってきました。しかし、いたるところが老朽化し、利用者の高齢化にも追いついてない状況です。

野村育成園の建替については、当法人が運営する野村学園障害児入所施設の移行状況の兼ね合いも要素となっています。平成24年改正児童福祉法が施行され、障害児入所施設においては18歳以上は障害者施策で対応することになりました。この改正により平成30年3月末の経過措置期間終了までに、(1)障害児施設として維持。(2)障害者施設に転換(3)障害児施設と障害者施設の併設、から選択し対応することとなっていました。しかし、移行手続き等について、具体的な方向性が示されないため当法人のみならず、県内、全国各地の同事業所でも進展がない状況でした。ようやく厚生労働省から同経過措置が平成32年度末まで3年間延期となる通知が平成29年3月に示されました。

その後の動向として、障害児入所施設関係者会議が平成30年度に2回開催され、県関係者・県内障害児入所施設関係者で話し合いを行いました。南予地区でも障害児入所施設を設置するという県の意向があり、野村学園が事業を継続していく方向性が出てきます。新たな障害者支援施設の認可も含めて、今後も協議を行っていく予定です。

野村学園の障害児入所施設、新たな障害者支援施設、野村学園障害者支援施設、野村育成園のそれぞれの定員数や建築箇所、資金等を総合的に検討し、建替の準備を進めていきます。

4 事業実施状況

期日	事業名	場所	適要
4月2日	辞令交付式	野村育成園ホール	
4月18日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務	野城ふれあい館	監査法人アシスト
5月16日	菊池公認会計士決算精査	野城ふれあい館	平成29年度決算チェック
	決算内部監査	野城ふれあい館	平成29年度決算チェック
5月18日	法人決算監事監査	いのき屋 育成園 野村学園	平成29年度決算、業務監査
5月22日	法人決算監事監査	寿楽苑 真伊子井 楽正園	平成29年度決算、業務監査
5月31日	第1回理事会	野城ふれあい館	平成29年度事業報告・決算承認・他
6月6日	リクルート学校訪問	宇和高校、三瓶高校、川之石高校	
6月7日	リクルート学校訪問	学校訪問（北宇和高校）	
6月12日	リクルート学校訪問	愛媛県内専門学校、短期大学、大学	
6月13日	リクルート学校訪問	岡山、徳島方面大学	
6月18日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務	野城ふれあい館	監査法人アシスト
6月22日	定時評議員会	野城ふれあい館	平成29年度事業報告・決算承認・他
6月28日	リクルート学校訪問	学校訪問 広島方面大学	
7月29日	第1期新規採用試験	野城ふれあい館	応募者8名中6名合格（1名辞退）
8月3日	入札実施	野城ふれあい館	野村学園津崎・野村学園スマートリー設備工事
9月18日	第3回理事会	野城ふれあい館	規則改正、補正予算
9月19日	全国社会福祉法人経営者大会	長野市	役員研修（理事長）
9月29日	第2期新規採用試験	野城ふれあい館	応募者1名中1名合格
	正職員登用試験	野城ふれあい館	応募11名中10名合格
10月20日	法人奉仕作業	野村・城川地域	
10月31日	業務管理体制に関する一般審査	野城ふれあい館	
11月2日	上半期決算内部監査	野城ふれあい館	

期日	事業名	場所	適要
11月6日	上半期決算監査監査	法正園・野村学園・しいのき園	平成30年度上半期決算
11月7日	上半期決算監査監査	育成園・寿楽苑・奥伊予荘	平成30年度上半期決算
11月12日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務	本部	監査法人アシスト
11月12日～26日	ストレスチェック実施		
12月15日	西予市合同就職面接会	西予市宇和文化会館	西予市主催
12月12日	第4回理事会	野城ふれあい館	定款一部変更
12月18日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務	本部、育成園	監査法人アシスト
1月7日	西予市年賀交換会	Aコープ2階	
1月24日	第5回理事会	野城ふれあい館	規則改正、補正予算
2月5日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務	野村学園、しいのき園	監査法人アシスト
2月13日	社会福祉法人法令遵守研修会	松山市	役員研修（監事2名）
2月17日	南予企業人材確保対策事業	八幡浜地方局	就職フェア
3月2日	ふれあい館のつどい	野城ふれあい館	
3月12日	第6回理事会	野城ふれあい館	規則改正、補正予算、評議会規程、収支予算
3月25日	評議員会	野城ふれあい館	補欠理事の選任
3月25日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務	法正園	監査法人アシスト
3月27日	退職辞令交付式	野城ふれあい館	定年退職者8名内新規雇用者5名
3月27日	評議員選任・解任委員会	野城ふれあい館	補欠評議員選任
3月29日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務	奥伊予荘、寿楽苑	監査法人アシスト

5 法人研修会

各階層に応じた研修会を行い、当法人で働く組織人として習得するべき知識や技能の向上を図り、組織マネジメントの強化を図るため実施しました。

No.	研修日	時間数	対象者	研修テーマ名	場所
1	6月19日	4時間	ネクストリーダー研修会（14名）	講師：大塚恭子 接遇対応向上	野城ふれあい館
2	8月21日	4時間	ネクストリーダー研修会（16名）	講師：大塚恭子 影響力を高めるコミュニケーション	野城ふれあい館
3	9月18日	4時間	リーダー研修会（17名）	講師：大塚恭子 伝達力向上	野城ふれあい館
4	10月16日	4時間	ネクストリーダー研修会（18名）	講師：大塚恭子 コーチング	野城ふれあい館
5	11月5日	2時間	地域連携講演会 新人研修、地域一課（10名）	講師：認知症の患者さんに教わること	野城ふれあい館
6	11月20日	2時間	リーダー研修会（18名）	講師：大塚恭子 コーチング	野城ふれあい館
6	12月4日	2時間	リーダー研修会（18名）	講師：大塚恭子 クレーム対応	野城ふれあい館
13	3月25日	終日	新規採用者施設内研修（10名）	メンタルヘルス他	野城ふれあい館
14	3月26日	終日	新規採用者施設内研修（6名）	施設見学	各施設
15	3月27日	終日	新規採用者施設内研修（6名）	高齢者の理解と支援	法正園
16	3月28日	終日	新規採用者施設内研修（9名）	接遇	野城ふれあい館
17	3月29日	終日	新規採用者施設内研修（5名）	介護技術伝達	野城ふれあい館

6 成長支援制度の取組

期日	会議名	検討内容	場所
4月5日	成長支援制度評価者研修会(10名)	成長支援制度評価者研修	野城ふれあい館
	施設サポート巡回	成長支援チーム目標目標設定	しいのき園
4月10日	施設サポート巡回	成長支援チーム目標目標設定	野村育成園・寿楽苑
4月12日	施設サポート巡回	成長支援チーム目標目標設定	法正園
4月13日	施設サポート巡回	成長支援チーム目標目標設定	奥伊予荘・野村学園
5月16日	事務局会(3名)	チーム目標達成ミーティングについて	野城ふれあい館
5月30日	施設サポート巡回	チーム目標と個人目標設定後のフォロー	しいのき園
6月5日	施設サポート巡回	チーム目標と個人目標設定後のフォロー	野城ふれあい館
6月8日	プロジェクト会議(12名)	中間面談の実施について・人事考課の実施について	野城ふれあい館
6月19日	事務局会(3名)	目標設定の改善、目標の振り返り	野城ふれあい館
8月8日	プロジェクト会議(12名)	人事考課の感想、中間面談の感想	野城ふれあい館
8月24日	施設サポート巡回	人事考課制度フォロー懇談	野村学園・寿楽苑
8月28日	事務局会(3名)	9月～12月スケジュール、人事考課後の意見及び改進点	野城ふれあい館
9月14日	施設サポート巡回	人事考課制度フォロー懇談	法正園・しいのき園
9月21日	施設サポート巡回	人事考課制度フォロー懇談	野村育成園・奥伊予荘
10月31日	事務局会(3名)	個人目標、個人ファイル、今後のスケジュール	野城ふれあい館
11月6日	プロジェクト会議(12名)	目標設定の状況と課題、巡回訪問結果の検討	野城ふれあい館
1月9日	プロジェクト会議(12名)	スキルチェックシート、評価調整ミーティング	野城ふれあい館
1月17日	成長支援制度フィードバック研修会	成長支援制度フィードバック研修会	野城ふれあい館
1月24日	成長支援制度フィードバック研修会	成長支援制度フィードバック研修会	野城ふれあい館
1月31日	成長支援制度フィードバック研修会	成長支援制度フィードバック研修会	野城ふれあい館
2月12日	事務局会(3名)	個人目標、個人ファイル、今後のスケジュール	野城ふれあい館
3月5日	事務局会(3名)	個人目標、個人ファイル、今後のスケジュール	野城ふれあい館
3月7日	プロジェクト会議(12名)	フィードバックと中間面談の実施状況について	野城ふれあい館

7 理事会

第1回理事会

期日 平成30年5月31日(木)

場所 野城ふれあい館

出席人数 理事6名、監事2名

○ 報告

報告番号	件名
報告番号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第1号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第1号)について
報告 第2号	野村学園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第2号)について
報告 第3号	法正園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第3号)について
報告 第4号	デイサービスセンターふれあい関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第4号)について
報告 第5号	しいのき園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第5号)について
報告 第6号	養護老人ホーム奥伊予荘運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第6号)について

報告 第 7 号	任期満了に伴う苦情解決第三者委員の任命について
----------	-------------------------

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第 1 号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について
議案 第 2 号	平成29年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業報告の承認について
議案 第 3 号	平成29年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会収支決算の承認について
議案 第 4 号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定時評議員会の招集について

理事会招集手続の省略

期日 平成30年8月17日（理事会の決議があったものとみなされた日）
人数 理事6名同意 監事2名確認

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第 5 号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について

第3回理事会

期日 平成30年9月18日（火）
場所 野城ふれあい館
出席人数 理事6名、監事2名

○ 報告

報告番号	件名
報告 第9号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第10号	平成30年8月3日施行の入札結果について
報告 第11号	職務執行状況の報告について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第 6 号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会経理規程の一部を改正する規程制定について
議案 第 7 号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会慶弔見舞金規程の一部を改正する規程制定について
議案 第 8 号	惣川高齢者生活福祉センター運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第 9 号	平成30年度野村育成園拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第 10 号	平成30年度野村学園成人部拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第 11 号	平成30年度野村学園児童部拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第 12 号	平成30年度寿楽苑拠点区分補正予算（第1号）について

第4回理事会

期日 平成30年12月21日（金）

場所 野城ふれあい館

出席人数 理事6名、監事2名

報告番号	件名
報告 第12号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第13号	共同生活事業所かぜ運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第7号）について
報告 第14号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第8号）について
報告 第15号	相談支援事業所こすもす（特定相談支援・障害児相談支援）運営規程（専決処分第9号）の制定について
報告 第16号	デイサービスセンターふれあい関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第10号）について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第13号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第14号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会旅費規則の一部を改正する規則制定について
議案 第15号	平成30年度法正園拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第16号	平成30年度奥伊予荘拠点区分補正予算（第1号）について

第5回理事会

期日 平成31年1月24日（木）

場所 野城ふれあい館

出席人数 理事6名、監事1名

報告番号	件名
報告 第17号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第17号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について
議案 第18号	特定施設入居者生活介護事業所奥伊予荘運営規程の制定について
議案 第19号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会経理規程の一部を改正する規程制定について
議案 第20号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第21号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第22号	惣川高齢者生活福祉センター関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第23号	平成30年度野村学園児童部拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第24号	平成30年度法正園拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第25号	平成30年度奥伊予荘拠点区分補正予算（第2号）について

第6回理事会

期日 平成31年3月12日(火)

場所 野城ふれあい館

出席人数 理事6名、監事2名

報告番号	件名
報告 第18号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第19号	職務執行状況の報告について

○議案審議

議案番号	件名
議案 第26号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第27号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第28号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第29号	養護老人ホーム奥伊予荘運営規程の全部を改正する規程制定について
議案 第30号	平成30年度野村育成園拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第31号	平成30年度野村学園成人部拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第32号	平成30年度野村学園児童部拠点区分補正予算(第3号)について
議案 第33号	平成30年度法正園拠点区分補正予算(第3号)について
議案 第34号	平成30年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第35号	平成30年度しいのき園拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第36号	平成30年度寿楽苑拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第37号	平成30年度奥伊予荘拠点区分補正予算(第3号)について
議案 第38号	平成30年度奨学金事業拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第39号	平成31年度給食業務委託契約更新について
議案 第40号	平成31年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業計画について
議案 第41号	平成31年度野村育成園拠点区分収支予算について
議案 第42号	平成31年度野村学園成人部拠点区分収支予算について
議案 第43号	平成31年度野村学園児童部拠点区分収支予算について
議案 第44号	平成31年度法正園拠点区分収支予算について
議案 第45号	平成31年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分収支予算について
議案 第46号	平成31年度しいのき園拠点区分収支予算について
議案 第47号	平成31年度寿楽苑拠点区分収支予算について

議案 第48号	平成31年度奥伊予荘拠点区分収支予算について
議案 第49号	平成31年度奨学金事業拠点区分収支予算について
議案 第50号	平成31年度法人後見事業拠点区分収支予算について
議案 第51号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会補欠評議員候補者の推薦について
議案 第52号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員選任・解任委員会の招集について
議案 第53号	施設長等の選任及び解任について
議案 第54号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会補欠理事候補者の推薦について
議案 第55号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員会の招集について

8 評議員会

第1回定期評議員会

期　日　平成30年6月22日（金）

場　所　野城ふれあい館

出席人数　評議員6人、理事6名、監事2人

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第 1号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について
議案 第 2号	平成29年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業報告の承認について
議案 第 3号	平成29年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会収支決算の承認について

評議員会招集手続の省略

期　日　平成31年2月12日（評議員会の決議があったものとみなされた日）

人　数　評議員7人同意

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第 4号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について

第3回定期評議員会

期　日　平成31年3月25日（月）

場　所　野城ふれあい館

出席人数　評議員6人、理事4名、監事2人

○ 報告

報告番号	件名
報告 第 1号	西日本豪雨災害復旧進捗状況について
報告 第 2号	施設長等の選任及び解任について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第5号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会補欠理事の選任について

9 専門委員会実施状況

委員会	実施回数	内 容
統括委員会	14	経営管理・整備・研究
広報委員会	4	広報誌3回発行、協会パンフレット、ホームページ作成
エルダー委員会	2	エルダー制度の目的確認、各施設への周知、制度の構築
研修委員会	2	階層別研修、地域連携講演会、継続研修会等の計画実施
総務・財政委員会	8	経営分析、労務管理、事務効率化、規則整備の準備
種別部会（高齢者福祉部会）	9	制度・施策改正情報の収集、事業の評価、課題の抽出、利用者満足度調査
種別部会（障害・児童福祉部会）	5	制度・施策改正情報の収集、事業の評価、課題の抽出、利用者満足度調査
中長期委員会	4	計画策定、状況確認、評価
危機管理委員会	2	感染症対策（BCP策定）（BCP）訓練
安全衛生委員会	1	ストレスチェック制度実施説明
ステップ委員会	9	奉仕作業、地域行事参加、ボランティアコーディネート、ふれあい館のつどい開催

取組名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考	
							水道使用 料	電気使 用料
	4月10日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2		無料		
	5月 3日	朝霧湖マラソン	野城ふれあい駐車場・トイレ・休憩箇所	7		無料		
	5月 9日	オレンジサークル(ボランティア)総会	野城ふれあい館ホール	2		無料		
	5月23日	西予市包括支援センター研修会	野城ふれあい館ホール・会議室	2		無料		
	6月12日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2		無料		
	6月26日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2		無料		
	8月 2日	ケアマネ連絡会	野城ふれあい館ホール	3		無料		
	9月 3日	介護保険事業所連絡会	野城ふれあい館ホール	2		無料		
	9月11日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2		無料		
	9月25日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2		無料		
	10月 8日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2		無料		
	10月12日	西予市社会福祉協議会主催研修会	野城ふれあい館ホール	8		無料		
	10月19日	西予市主催 わくわくミュージック	野城ふれあい館ホール	2		無料		
	10月23日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2		無料		
	10月25日	西予市社会福祉協議会主催講習会サービス	野城ふれあい館マルシェ	1		無料		
	10月26日	西予市社会福祉協議会主催講習会サービス	野城ふれあい館マルシェ	1		無料		
	10月30日	愛媛医療技術大学主催研修会	野城ふれあい館ホール・会議室	4		無料		
	11月 9日	西予市社会福祉協議会主催体操教室	野城ふれあい館ホール	2		無料		
	11月13日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2		無料		
	11月14日	南予老人福祉施設協議会主催研修会	野城ふれあい館ホール・会議室	7		無料		
	11月16日	南予市老人福祉施設連絡会主催研修会	野城ふれあい館ホール・会議室	2		無料		
	11月21日	介護マタリボーダーがイントロダクションティア勉強会	野城ふれあい館ホール	3		無料		
	11月22日	西予市主催 わくわくミュージック	野城ふれあい館ホール	2		無料		
	12月 4日	西予市包括支援センター会議	野城ふれあい館マルシェ	3		無料		
	12月 5日	西予市包括支援センター会議	野城ふれあい館マルシェ	1		無料		

施設開放

実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
12月 6日	西予市社会福祉法人連絡会研修会	野城ふれあい館ホール	5			無料
12月 11日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2			無料
12月 14日	西予市社会福祉協議会主催体操教室	野城ふれあい館ホール	2			無料
12月 21日	西予市主催 わくわくミュージック	野城ふれあい館ホール	2			無料
1月 8日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2			無料
1月 22日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2			無料
2月 12日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2			無料
2月 26日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2			無料
3月 8日	野村小学校運動会	野城ふれあい館・体育館・駐車場・トイレ・休憩室	4			無料
3月 26日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2			無料
平成30年度	4名奨学生に奨学金を貸与				2,250,000	
奉仕作業	10月 20日 法人奉仕作業	野村・城川地区	3	93		
イベント(地域との交流)	3月 2日 ふれあい館の集い	野城ふれあい館全城	4	50	240,000	
	5月23日～24日 車椅子	個人				無料
	10月 9日～11日 車椅子	個人				無料
	11月 5日～6日 車椅子	個人				無料
	2月 22日～26日 車椅子	個人				無料
7月 7日豪雨災害 ボランティア	ボランティアセンター・包括支援センター派遣延べ人数 奥伊予荘浴室開放による利用延べ人数			121		
					118	

野村育成園

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
	5月25日		本町3丁目	1.5	1		
	6月 8日		白堀	1.5	2		
	6月20日		中屋敷	2	1		食事会
	6月25日		上下氏宮	1.5	2		
ハート＆ハート	8月18日	ミニージック・ケアの実践	久保谷	1.5	1		
	9月19日		城川町下相	1.5	1		
	9月25日		脇はづらつ教室	1.5	2		
	11月13日		木暮	1.5	1		
	11月21日		樺現	2	1		食事会
	12月18日		城川町高野子	2	1		食事会
幼稚園芋植え	6月11日	芋植え交流	野村育成園	2	10		
幼稚園芋ほり交流	10月11日	芋ほり・演芸交流	野村育成園	2	10		
寄せ植え講習会	12月 8日	寄せ植え講習	阿下地区婦人会	2	3		
野村小学校人権参観日 寄せ植え交流	12月14日		商工会	2	5		
	11月25日	地域・親子・利用者による 寄せ植え作り交流	野村小学校	3	7		5年生対象
野村高校祭	10月27日	日中活動の紹介	野村高校	3	1		
野村高校交流会	12月19日	クリスマス会を兼ねた交流	野村育成園	2	8		VIS生徒 9名
四国地区人権教育 研究大会	7月 5日 7月 6日	分科会にてGH・就労等に關する取組を発表	香川県社会福祉総合 コミュニケーションホール 西予市同行	2	5		

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
全国人権・同和教育研究大会	11月16日 11月18日	分科会にてGH・就労等に関する取組を発表する	滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール	3	4		西予市同行
物品貸し出し	5月2日 11月25日 3月23日	布椅子70脚 布椅子42脚 布椅子50脚	朝霧湖マラソン 観光協会(乙亥相撲) 野村スポーツクラブ (ノルディック大会)				
福祉避難所開設	7月27日～ 9月7日	1家族3名の方に住居を提供	野村育成園 あさひ寮地域交流ホーム	43日間			
被災者支援	7月～8月	避難所へ野菜、菓子の提供					あおぞら
西予市協力	5月	朝霧湖マラソンコース清掃 景品(花苗)提供					あおぞら
ニアボランティ	6月17日 12月12日	清掃活動 餅つき	野村育成園	2	6		
				2	2		

野村学園

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	従業員数(人)	負担費用(円)	備考
公道管理	4月26日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	4月27日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	6月13日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	7月10日	道路清掃	園周辺市道		2	6	
	7月12日	道路清掃	園周辺市道		2	6	
	7月19日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	7月23日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	7月24日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	7月30日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	8月1日	道路清掃	園周辺市道		2	6	
	8月2日	道路清掃	園周辺市道		2	6	
	8月3日	道路清掃	園周辺市道		2	6	
	8月8日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	8月29日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	9月19日	雑木の伐採、片付け	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	10月1日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	10月9日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	10月12日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	10月19日	道路清掃	園周辺市道		2	10	
	10月23日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	10月25日	雑木の伐採、片付け	園周辺市道		2	12	
	11月5日	雑木の伐採、片付け	園周辺市道		2	3 (+1, 4)	
	11月21日	雑木の伐採、片付け	園周辺市道		2	9	
	1月24日	雑木の伐採、片付け	園周辺市道		2	7	
	1月25日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	1月29日	雑木の伐採、片付け	園周辺市道		2	3 (+1, 4)	

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
	2月 8日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	2月 13日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
	2月 21日	雑木の伐採、片付け	園周辺市道		2	7	
	3月 6日	雑木の伐採、片付け	園周辺市道		2	3 (+1, 4)	
	3月 20日	雑木の伐採、片付け	園周辺市道		2	7	
	3月 26日	道路清掃	園周辺市道		2	2 (+1, 4)	
あきぎり湖マラソン協力	5月 3日	給水ボランティア・ミストショット設置	学園上コース沿い		3	8	
大瀬中学校交流会	5月 21日	スポーツ交流	野村学園		3	15	
愛大生交流会	6月 3日	スポーツ交流	野村学園		2	4	
清掃活動	毎月1回	ゴミ拾い	野村ダム周辺		2	4	
人材育成	9月 10日～14日	保育実習生受け入れ（明星大学1名）	野村学園		8	6	8:30～17:30
	9月 14日～27日	保育実習生受け入れ（福岡平岡短期大学2名）	野村学園		8	6	9泊90時間以上
	10月 15日～27日	保育実習生受け入れ（東京女子大学2名）	野村学園		8	6	9泊90時間以上
	11月26日～12月 7日	保育実習生受け入れ（筑紫女子短期大学2名）	野村学園		8	6	10泊
	12月 11日～22日	保育実習生受け入れ（東京女子短期大学2名）	野村学園		8	6	10泊
学園祭交流会	11月 17日	イベント交流	野村学園		4	40	

法正園

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
法人減免	4月～3月	介護福祉サー ビス費25%軽減	法正園			212,447	利用者1名
法人減免	4月～3月	介護福祉サー ビス費25%軽減	ディサービスセンターふれあい			16,905	利用者1名
お試しディ	4月～3月	新規利用者に対してお試しで利用していただきく	ディサービスセンターふれあい	1日		9,000	3月末までに9名利用
外部への貸出	4月～3月	踊りの稽古場として貸出	なごみホール	4～6(1回)		14,400	期間未定(100円/1時間)

しいのき園

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
野村中学校出前講座	6月1日	基本的介護技術と車いす体験	野村中学校	2	6		2クラス
野村高校出前講座	6月21日	基本的介護技術と車いす体験	野村高校	2	3		2クラス
野村高校出前講座	10月9日	基本的介護技術と車いす体験	野村高校	1時間	3		1クラス
野村小6年生出前講座	10月21日	高齢者の理解と食事について	野村小学校	1.5	3	1,900	2クラス
野村中学校ふれあい交流	11月29日	入所利用者とふれあい交流	しいのき園	1.5	10		1クラス
野村小6年生介護体験	12月5日	各ユニット10名程度に分かれ利用者と交流	しいのき園	1.5	10		2クラス
駐車場の提供	5・8月	ハーフマラソン・花火大会	しいのき駐車場	8			
福祉用具の貸し出し	4～3月	車いす・歩行器・Pトイレ等	しいのき園				制限なし

寿楽苑

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
法人減免	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	寿楽苑	-	-	130,706	利用者2名
お試しデイ	4月～3月	新規利用者に対してお試しで利用	デイサービスセンター寿楽苑	1日	-	0	15名利用
入浴サービス	4月～3月	障害者生活支援（生きがい事業代書え）	デイサービスセンター寿楽苑	1日	-	75,000	15回利用
高齢者部会出前講座	6月	野村高校出前講座	野村高校		6		寿楽苑4名
	10月	野村高校出前講座	野村高校		6		寿楽苑4名
送迎サービス		デイサービスセンター寿楽苑					

奥伊予在

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
奥伊予のつどい	5月20日	(DVD上映)・救急時の対応 (心肺蘇生・AED)	地域交流ベース	3	3 + 消防署		参加者13名
	6月15日	(DVD上映)・芋苗植え (保育所)	庄内畠	1.5	6	2,500	
	9月16日	(DVD上映)・栄養士による パンボイント講座	地域交流ベース	2.5	2		参加者25名
	10月26日	(DVD上映)・芋ほり・昔遊 び	地域交流ベース 庄内畠	1.5	6		
	11月18日	(DVD上映)・安全な電気の 使い方にについての講習	地域交流 ベース	3	2 + 四 国電気		参加者18名
	6月25日 ～29	えひめジャーナルU-15事業 職場体験	各ユニット	6	3		参加者 1名
	城川中3年生との交流	基本的介護技術と車イス体験	地域交流 ベース	1	3		参加者10名
豪雨災害による浴室開放	7月12日 ～8月	消防団・ボランティア対象の浴 室・	大浴室・和室	毎日			消防団 ボランティア
	7月～9月	地域住民の浴室利用	ユニットバス				地域の方 (ご夫婦)
	7月～4月	地域住民の浴室利用	大浴室	週3回			地域住民

平成30年度ハート&ハート事業報告

【確認】

社会福祉法人における地域貢献に向けた「1法人（施設）1実践」活動を実践する。

【事業目的】

社会福祉法人の使命である「地域福祉における福祉の増進」の一環として、「地域社会とともに歩む社会福祉法人」を目指す。

法人が自ら地域の中に入っていくことで、潜在的な地域のニーズを把握し、法人としての今後のサービスの展開に結び付けていく。

また法人・個人としての技術・技能を地域に提示していく過程において、そのスキルアップや人材の育成に結び付けていく。

【事業内容】

野村町内や城川町内のいきいきサロンに出向き、ミュージック・ケアや和みの場を体験していただく。

謝礼や講師料、交通費は無料

ミュージック・ケアについては、その技術を提供できる職員1名と出来うる範囲でサブの職員が同行する。

【周知方法】

1 社協と連携し、町内のいきいきサロン役員へチラシの送付

2 地域包括支援センター、生活福祉課への依頼

【実施状況】

	実施日	地区名	会場
1	5月25日	本町三丁目	集会所
2	6月8日	白鷗	集会所
3	6月20日	中屋敷	集会所
4	8月18日	久保谷	集会所
5	6月25日	上・下氏宮	集会所
6	9月19日	城川町下相	集会所
7	9月25日	脇はつらつ会	ふれあい館
8	11月13日	木落	集会所
9	11月21日	権現	集会所
10	12月13日	城川町高野子	集会所

【反省と今後の課題】

例年通り、サロンから依頼を頂き事業を継続していくことができたが、7月の豪雨災害を受け、予約のあったサロンを中止せざるを得なくなってしまった。災害後、8月にはサロンから依頼を受け再開することができ、再び地域の方から「楽しかった、また来てほしい」との声を聞くことが出来た。

ハート&ハート事業が衰退していかないように、サロンへの広報活動や申し込み書の配布等社協にも協力を頂きながら積極的に行っていきたい。

今後においても、施設の利用者以外の方と身近にかかわることのできる機会を最大限に利用していくことのできる場としての意識を持ちながら、各施設の広報活動の場として活用するなどの方向性を確立する意味でも、各施設に情報発信を行い法人全体で取り組んでいく体制の確立を目指したい。

11 事業所別事業報告【障害・児童福祉部】

平成30年7月豪雨にて、就労支援事業所あおぞらのまんま屋が完全水没し、7ヶ月にわたり休業せざるを得ませんでした。NPO法人AARジャパン、日本知的障害者福祉協会等から手厚い支援を頂き、平成31年2月に育成園内にて再稼動を始めました。

また、グループホームや就労支援事業への取り組みを全国大会にて発表することにより、改めて地域との繋がりを大切にしながらともに歩んでいくことの重要性を確認し、学校との交流も取り組んでいるところです。

野村育成園では、3月末の利用者平均年齢が60.8歳と高齢化が進み、入院も増加、長期化する傾向にあるため、その対応策の一つとして喀痰吸引の事業者登録を行いました。

また、障害児分野では、障害児入所施設を存続させていくこうとする県の方針もあり、障害分野全体を見据えた今後の方針を決める時期に近付いています。

児童事業では、引続き放課後児童健全育成事業を野村・城川の両小学校区に於いて運営しているところです。

平成30年度については西日本豪雨災害により西予市立野村保育所が浸水被災、施設が使用不可となりました。そのため仮設保育所が出来る12月末までの期間「ゆめちゃんこ」内2階での運営依頼があり、のむらキッズは野村小学校3階に場所を移転して運営致しました。

その間、関係機関の支援や協力もあり、混乱なく事業運営できた事は意義深く大きな社会貢献に繋がったかと思います。しろかわキッズは大きな変動はなく運営できました。

障害者支援施設野村育成園

(1) 行動指針

- ① 利用者の意志及び人格を尊重し、常に相手の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- ② 利用者や家族の意向を把握し、連携してサービスの充実に努めます。
- ③ 笑顔で過ごすことのできる生活の場と活動の場を提供していきます。
- ④ 施設や職員の持つ知識、資格を生かし、地域福祉の増進に貢献します。
- ⑤ 信頼される職員、施設、法人となるよう自己研鑽に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	機能低下防止への取り組み	・機能訓練や創作活動、園外歩行等、個々の能力や状態に応じた活動に取り組み、日中活動の充実を図りました。
	個別支援計画の充実	・定期的なカンファレンスを実施し、47名の家族の方が参加して頂きました。 ・利用者や家族のニーズに基づいたサービスの提供を目指し、里帰り外出や墓参り等も実施しました。 ・顧客満足度調査を実施、意向の確認を行いました。
	ご家族との信頼関係の構築	・各担当が月に1回は電話連絡を行い、利用者の近況報告を行いました。 ・年4回、家族へ出納帳のコピーを送付しました。
	高齢化・看取り対応への基礎づくり	・平成31年1月15日、喀痰吸引事業所登録が完了しました。 ・30年度喀痰吸引研修修了者2名。

区分	重点項目	平成30年度取組報告
社会に対する基本姿勢	地域貢献	・地域のサロンに出向くハート&ハート、わくわくミュージック、保健師や地域包括支援センター等の依頼による各種教室などで、ミュージック・ケアを年間で45回実施することにより「地域社会とともに歩む社会福祉法人」を意識づけていくことに繋がったと思われます。
	開かれた施設づくり	・豪雨災害の影響でチャレンジボランティアの受け入れはなかったが、シニアボランティアの受け入れや、高校生ボランティアを受け入れました。また、災害後には43日間に及ぶ福祉避難所の開設も行いました。
福祉人材に関する基本姿勢	資格取得の推進	・介護福祉士実務者研修2名、強度行動障害研修10名、サビ管研修6名受講しました。
	魅力ある職場作り	・成長支援制度を実施し、チーム目標を掲げリーダーを中心に一丸となって目標に取り組む姿勢が見られました。 ・月に一回産業医との面談やストレスチェックを実施し回収率100%を達成しました。
	国内研修の充実	・2ヶ月に1度園内研修を実施し感染症・虐待防止研修、外部講師を招いての強度行動障がい研修を実施しました。入所利用者の事例を用いて研修することで実践に近い研修となりました。 ・強度行動障害のある利用者の対応を他機関とも協力しながら取り組んでいます。 ・虐待チェックリストを年2回実施し気づきを促しました。 ・介護技術伝達講習で習得した技術を職員間で共有する場を設け支援に生かしています。
マネジメントに対する基本姿勢	施設入所定員数の確保及び見直し	・死亡と介護保険移行に伴い2名減となったが、補充はしていない状態です。 ・11月より重度加算を取り始めました。
	人材育成とコンプライアンスの徹底	・エルダー制度を導入し、人材育成に取り組みました。 ・職員会で法人理念を唱和し周知を図りました。 ・虐待研修48名の職員が参加しました。

(3) 行事報告

月	行事	研修(OJT)	その他
4月	希望外出 (遠足等)	新人育成研修会 成長支援チーム目標・個人目標設定	県総会 (理事会・運営委員会) 家族会総会 出納帳送付 南予総会(理事会)
5月	希望外出 健康診断(1回目) 利用者自治会		家族会役員会 南予ソフトボール大会 広報誌発行

月	行 事	研修 (O J T)	その他
6月	芋植え交流会 希望外出	第1回施設長会 新任研修会 虐待チェックリスト（1回目） 実施 園内職員研修会（介護技術）	幼稚園（芋植え交流会） 南予地区予選ソフトボール 大会（県） 南予レクバレー大会 家族えがおの集い（家族会） シニアボランティア6名
7月	希望外出	四国地区施設長会 中国・四国地区職員研修会	出納帳送付
8月	希望外出	職員研修会 四国地区職員研修協議会 青年部夏季研修会 救命救急講習会（心肺蘇生・AED）	
9月	歯科検診（こまどり号）	全国知的障害者職員研修会 成長支援チーム・個人目標 振り返り	広報誌発行
10月	芋掘り交流会 希望旅行	職員研修会 園内職員研修会（虐待防止・感 染症予防・身体拘束） 成長支援チーム目標・個人目標 設定	幼稚園（芋掘り交流会） 福祉のつどいレクバレー 大会（県） 出納帳送付 南予福祉まつり 家族ふれあい行事
11月	希望旅行 健康診断（2回目） 乙亥祭 インフルエンザ予防接種	施設長会 南予施設会研修会	乙亥外出行事（家族）
12月	クリスマス会 餅つき	南予企画委員会 虐待チェックリスト（2回目） 実施 園内職員研修外部講師依頼 (強度行動障害)	野村高校生ボランティア 10名 シニアボランティア2名 家族会役員会
1月	希望外出 新年会 初詣	施設長会 障害者支援施設部会全国大会	広報誌発行 出納帳送付
2月	希望外出 節分	四国地区施設長会 職員研修他施設見学（強度行動 障害）	
3月	お別れ遠足	南予球技大会実行委員会	家族会役員会
毎月	運営委員会、各寮会、支援体制委員会、イベント委員会、生活保健給食環境・安全衛 生管理委員会、のいくネットワーク（サービス・苦情・虐待・拘束）、研修委員会 日中活動委員会、身体計測、誕生会メニュー、バイキング昼食、リクエストメニュー 産業医来園		
定期	カンファレンス（6ヶ月毎・入退院時・必要時）、職員会（4月及び奇数月） エルダー委員会、防災対策委員会		
随時	避難訓練、個別希望外出、嗜好調査、園内職員研修、感染症対策委員会 医療行為対策委員会、入所検討委員会		
毎日	嚥下体操、機能訓練		

(4) 施設入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	2,400	2,380	99.2%	95.3%
5	2,480	2,415	97.4%	95.4%
6	2,400	2,310	96.3%	98.3%
7	2,480	2,309	93.1%	97.5%
8	2,480	2,297	92.6%	93.4%
9	2,400	2,306	96.1%	94.8%
10	2,480	2,400	96.8%	95.0%
11	2,400	2,351	98.0%	95.7%
12	2,480	2,376	95.8%	97.5%
1	2,480	2,329	93.9%	96.5%
2	2,240	2,070	92.4%	98.1%
3	2,480	2,294	92.5%	98.6%
合計	29,200	27,837	95.3%	96.3%

(5) 生活介護利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,760	1,748	99.3%	96.5%
5	1,840	1,803	98.0%	97.0%
6	1,760	1,692	96.1%	99.5%
7	1,840	1,722	93.6%	99.9%
8	1,840	1,698	92.3%	94.5%
9	1,760	1,691	96.1%	97.3%
10	1,840	1,777	96.6%	97.7%
11	1,760	1,728	98.2%	98.1%
12	1,840	1,789	97.2%	98.7%
1	1,840	1,756	95.4%	99.1%
2	1,600	1,474	92.1%	98.2%
3	1,840	1,693	92.0%	98.6%
合計	21,620	20,571	95.6%	97.9%

(6) 短期入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率
4	60	17	28.3%
5	62	19	30.6%
6	60	14	23.3%
7	62	41	66.1%
8	62	45	72.6%
9	60	38	63.3%
10	62	20	32.3%
11	60	15	25.0%
12	62	16	25.8%
1	62	19	30.6%
2	56	14	25.0%
3	62	15	24.2%
合計	730	273	37.4%

(7) 入所者障害支援区別

(H31年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6	平均支援区分
3	7	36	32	5.2

男性 43名 女性 35名

平均年齢 60.8歳

共同生活事業所かぜ

(1) 行動指針

- ① 利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- ② 家庭との結びつきを重視し、ご家族とご利用者の絆を大切にした支援を行います。また、ご家族への連絡・報告にも気を配ります。
- ③ 利用者の障がいに対する正しい理解とエンパワーメントの視点を大切にし、より自立した生活ができるよう、夢を持ち支援を行います。
- ④ 地域との結びつきを重視し、誰もが住みやすい地域社会の構築に向けて努力します。
- ⑤ 職員は専門性を高め、相互の連携を密にし良好なチームワークの確立に努め、関係法令を遵守した支援を行います。

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	利用者の意向に沿った支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なカンファレンスを実施し、本人の思いを大事にした個別支援計画を作成し、支援の実施に努めました。
	高齢化・重度化に対応した夜間支援体制	<ul style="list-style-type: none"> きぼうホームの宿直体制継続中。 きぼうホーム利用者1名情緒不安定な状態になる事が時々ある為、宿直職員による対応や電話連絡により、かぜ職員が対応しています。本人の状態や状況により、かぜ職員が宿直業務を交代し対応しています。 30年度においては、利用者への感染症の蔓延はなく、夜間各ホームへの巡回や対応する事はなかった。 <p>平成30年4月より施行された日中サービス支援型共同生活援助について、出張の折に四国での実施状況を確認したが、その時点では、申請している事業所があったのみであった。</p>
社会に対する基本姿勢	地域住民との協力	<ul style="list-style-type: none"> 地方祭や地域のイベントに参加し、地域の方と交流することができました。また、町内会の清掃作業に参加をしました。 ホームの避難訓練時、隣家、タクシー会社等に協力を依頼し、地域の方々への理解と緊急時の連絡体制を確保できるよう努めています。 地域の方から利用者の情報提供があった際には、利用者が持つ障がいの理解と配慮を頂けるよう努めています。
福祉人材に対する基本姿勢	資格取得の推進	<ul style="list-style-type: none"> サービス管理責任者研修を受講し、就労分野研修終了者1名。 介護福祉士受験し合格者1名。
	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 内部研修として、サービス管理責任者、支援員については野村育成園の職員研修に2ヶ月に1度参加。その他に「世話人研修会」として、「感染症対策」「虐待」について研修を実施。 外部研修として「全国グループホーム等研修会」「全国人権・同和教育研究大会」等の研修会に参加し全国の取り組みや動向を学ぶことができた。 世話人研修会として、サービス管理責任者が講師を行い、虐待についての研修会を行う。 市の保健師に講師を依頼し「感染症対策」についての研修を行いました。「栄養」に関しては災害に伴い中止となっています。

区分	重点項目	平成30年度取組報告
マネジメントに対する基本姿勢	マネジメント力の向上	・法人内リーダー研修1名受講
	今後のGHの方向性について	・外部サービス利用型及び、日中サービス支援型の情報収集を行うと共に法人内他事業所との情報交換を行い、事業所としての構想を経営青年部会にて報告しています。
	人材育成とコンプライアンスの徹底	・世話人スタッフ会にて仕事に対する基本姿勢やモラルについて話し合っています。 ・愛媛県社会福祉法人経営青年会にて、人材育成や定着等についての研修会に参加しました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修(OJT)	そ の 他
4月	自治会外出(花見等) 7名 れんげ祭り(宇和) 17名	スタッフ研修会(防災)	桃源郷マラソン(松野) 1名 ポップサーカス6名 ノルディック大会1名
	南予ソフトボール大会9名 定期健診 県障がい者スポーツ大会 13名	園内研修会(支援)	朝霧湖マラソン
6月	南予レクバレー大会6名 家族会えがおの集い 県障がい者スポーツ大会 (ボウリング) 5名		
7月	豪雨災害の為各種行事中止	豪雨災害の為 世話人研修会中止	劇団(さむらい)外出6名 豪雨災害の為各種イベント中止
8月	豪雨災害の為各種行事中止	園内研修会(普通救命)	大月みやこコンサート6名
9月	こまどり号歯科検診	全国グループホーム等 研修会	爆笑お笑いフェスin松前5名
10月	福祉のつどいレクバレー 大会8名 自治会旅行(大阪) 23名 福祉まつり8人 幼稚園芋掘交流 施設交流奉仕作業 家族ふれあい行事	園内研修会(虐待、 感染、身体拘束)	全国障害者スポーツ大会 (福井県~1名) 野村高校祭3名
11月	インフルエンザ予防接種 野村学園 学園祭18名 乙亥祭(家族会) マンダリンパイレーツ交流会	世話人研修会 (感染症)	西予市定期健診(対象者) 松山劇場7名
12月	大掃除 利用者忘年会		シェイクアウトえひめ
1月	初詣		
2月		園内研修会 世話人研修会(虐待)	
3月	演劇外出(肱川) 17名		

毎月	運営委員会・のいくネットワーク・世話人スタッフ会・研修委員会
定期	カンファレンス・職員会（2ヶ月に一回）
随時	避難訓練・地域行事外出・内部研修会・法人研修会

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	690	672	97.4%	95.3%
5	713	679	95.2%	95.4%
6	690	674	97.7%	98.3%
7	713	688	96.5%	97.5%
8	713	666	93.4%	93.4%
9	690	676	98.0%	94.8%
10	713	701	98.3%	95.0%
11	690	684	99.1%	95.7%
12	713	677	95.0%	96.6%
1	713	680	95.4%	98.1%
2	644	637	98.9%	98.6%
3	713	706	99.0%	96.3%
合計	8,395	8,140	97.0%	96.2%

入居者支援区分別

(H31年3月末現在)

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0	2	15	6	0	0

平均区分度 3.2

男性 17名 女性 6名

平均年齢 55.0歳

ヘルパーステーション・ハート

(1) 行動指針

- ① 利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- ② 安心・安全なサービスが提供できるよう、知識とスキルの向上を目指し研修や資格取得の機会を設けます。
- ③ いつまでも、その人が望む暮らしを実現できるよう、の人らしく生活できるよう地域生活を支えるお手伝いをします。

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	利用者様の意思を尊重し個々に応じたサービスを提供する	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅、居住サービス（ホームヘルプサービス・同行援護・行動援護）と地域生活支援事業（移動支援）において、適宜、カンファレンスを実施し、利用者の思いを汲み取り環境に見合った適切なサービスの提供を心掛けています。 ・強度行動障がい支援者支援計画シートと手順書作成を行いました。
社会に対する基本姿勢	地域関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活事業所（かぜ）・相談支援事業所（こすもす）・野村育成園・他の居宅事業所等と連絡調整、情報交換を綿密に行う事により、円滑な運営やサービスの提供が出来るよう努めました。また、スタッフ間での情報共有にも努めてきました。
	高齢化と増設に伴う地域グループホームへの派遣業務	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集に努めてきましたが、グループホームへの派遣は移動支援以外行いませんでした。
福祉人材に関する基本姿勢	定着に向けた人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・同行援護従事者（提供者未取得者）の資格取得を行いました。（2名） ・強度行動障がい支援者資格を取得しました。（1名）
	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県相談支援協会主催の研修会に参加し、知識習得を図りました。 ・強度行動障がい支援者養成研修～サビ提・兼務ヘルパー
マネジメントに対する基本姿勢	事業拡大と事業所整備	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者（2名）と利用回数が増えました。（2名） ・事業所の変更（あおぞら事務所内）を行いました。
	人材育成とコンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の研修や他機関の講習等、積極的に参加し、資格取得や自己研鑽に努めています。

(3) 行事報告

月	業 務	研 修 (O J T)	その他の行事
4月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援 家族会総会		家族会総会
5月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援 定期健診	同行援護(一般)研修	県障害者スポーツ大会
6月	居宅介護 行動援護 移動支援	同行援護(応用)・(補講)研修 強度行動障がい支援者養成 (基礎)研修 國内研修(虐待)	
7月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	強度行動障がい支援者養成 (実践)研修	
8月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	國内研修(救命救急講習)	
9月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援		
10月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	國内研修(虐待) 國内研修(感染予防)	家族ふれあい行事(家族会)
11月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援		GH自治会旅行
12月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援		
1月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援		
2月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	危険予知トレーニング研修	
3月	居宅介護・同行援護・行動援護		
備考	• スタッフ会(毎月)・職員会・委員会・避難訓練 • 強度行動障がい支援者養成研修(随時) • 移動支援(グループ支援、グループホーム自治会旅行、スポーツ大会等) • 常勤、兼務者との連携を図りながら随時、依頼に対応します。		

(4) 利用状況等

平成30年度サービス実績(延べ件数)			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
居宅介護	家事援助	知的	10	10	9	5	8	8	9	11	11	10	10	10	111		
		精神	29	27	29	22	25	28	30	27	30	30	30	33	340		
		身体	3	2	3	0	0	0	0	4	1	1	0	0	14		
	身体介護		10	14	11	13	8	8	8	11	12	9	7	10	121		
	通院等介助		1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	6		
同行援護			0	0	4	4	4	4	5	3	3	3	3	4	37		
行動援護			13	12	13	5	7	11	12	11	11	11	12	10	128		
移動支援			7	5	6	5	6	5	2	5	6	7	4	0	58		
計			73	71	76	55	58	65	66	73	74	72	66	67	815		

就労支援事業所あおぞら

(1) 行動指針

- ① 利用者の尊厳を大切にし、適切な環境のもとそれぞれの能力と特性に応じた支援を行います。
- ② 就労や生産活動の機会を適切かつ効果的に提供し、働く喜びや楽しみを共に分かちあいます。
- ③ 福祉的な就労の場、日中活動の場として、一人一人が地域社会で生き生きと生活できるよう支援します。
- ④ コンプライアンスの遵守はもとより、研修会や講習会などに積極的に参加して自己研鑽に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	利用者主体の活動	・流れ作業の中でそれが得意なところで作業できるよう仕組み作りを行い利用者だけでの作業環境が出来るようしました。(例:鉢上げ作業~ポット土入れ、苗植え付け、置き肥等)
	物品・役務の質の向上	・平均工賃11,103円(時給換算107円) ・豪雨災害により減収したため大幅に減少となりました。
	職場定着支援	・離職者2名 就職継続者1名 ・町内企業等への実習を計画、実行しましたが利用者本人の希望等があり新たな就職、実習先の開拓等はできませんでした。
社会に対する基本姿勢	地域の美化協力、ごみ排出困難者支援	・平成30年度もふれあい収集事業の委託を受け事業継続となりました。前年度に比べ2件増加しております。 ・企業、個人宅等の除草剪定等を請け負いました。
	地域行事への参加・協力	・あさぎり湖マラソン、乙亥祭り、青い鳥マーケット、軽トラ市に出店し地域との交流を深めました。また、利用者が接客をすることでスキルの向上と地域交流ができました。 ・野村小学校交流会、幼稚園との芋植え芋ほり交流会を行いました。
福祉人材に対する基本姿勢	専門知識の習得(作業支援)	・園内研修等で専門知識の共有を図ることが出来ました。 ・まんま屋職員1名食品衛生管理者取得しました。
	支援技術の向上	・園内研修や、毎月のスタッフ会等で支援の問題点等を話し合うことで情報の共有や支援力の向上をはかることができました。

区分	重点項目	平成30年度取組報告
マネジメントに対する基本姿勢	経営に対する意識向上	<ul style="list-style-type: none"> 農業に秀でた職員雇用が出来たことで、畑の土質改善、野菜の質の向上が行えた。また産直市に時期に応じた花や野菜を出品することで売り上げが向上した。 配食部門は7月の豪雨災害にて営業休止となっていたが2月より再稼働となった。しかし、被災前ほどは販売数が伸びておらず販路拡大する工夫が必要。
	成長支援制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の工賃を下げない為にあおぞらの収益を伸ばすことを全体での目標として農園芸に力を入れることが出来ました。
	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ会の都度、虐待、モラル違反等について話し合いを行い各職員の意識向上に努めました。 苦情は被災による工賃減少に対しありました。家族への説明が不足だったため改めて説明を行うことで納得していただきました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月	春野菜・花苗販売 果物皮剥ぎ作業（1月～6月） 家族会総会（販売、弁当）	新人育成研修会	
5月	共立電気花壇管理 ふるさとづくり栽培管理 朝霧湖マラソン (コース清掃、出店) 定期健診（利用者・職員） 南予福祉施設会 ソフトボール大会 (参加、弁当) 県障害者スポーツ大会（参加）		あさぎり湖マラソン出店 (城川ベーコン、フランクフルト、花苗等)
6月	芋植え交流会 南予福祉施設会 レクバレー大会 県ソフトボール南予大会 えがおの集い	園内研修（虐待）	
7月	就労支援事業所合同説明会（延期） 利用者研修（パソコン）～災害により不参加 県レクバレー大会～災害による中止 福祉のつどいソフトボール県大会（雨中止）		

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
8月	あおぞら・たんぽぽ合同避難訓練 (災害の影響にて中止)	園内研修 (普通救命講習) 利用者研修 (パソコン)	
9月	ふるさとづくり栽培管理 スタッフ研修 (介護技術、排せつケア、アンガーマネジメント) こまどり号歯科検診	利用者研修 (パソコン)	
10月	幼稚園芋ほり交流 福祉のつどいレクバレー大会 全国障害者スポーツ大会 (福井) ステップ奉仕作業 あおぞら・たんぽぽ合同避難訓練 (中止) 社会見学外出 (道の駅:中山、内子)、コーブえひめ (東本) 顧客満足度調査	スタッフ研修 (成長支援制度) 園内研修 利用者研修 (パソコン)	青い鳥マーケット出店 (花苗、寄せ植え等)
11月	玉葱苗販売 インフルエンザ予防接種 野村小学校交流会	利用者研修 (パソコン)	乙亥祭り出店 (焼き芋等)
12月	大掃除 寄せ植え講習会 (阿下、商工会) 利用者研修 (合同説明会:企業)	園内研修	
1月		利用者研修 (パソコン)	軽トラ市出店 (干し芋、花苗等)
2月	春野菜・花苗播種開始 果物皮剥ぎ作業 (1月~6月) まんま屋再開 あおぞら避難訓練	園内研修 (危険予知トレーニング) 利用者研修 (パソコン)	
3月	あおぞら避難訓練 (消防署立ち合 い)		ふれあい館の集い
毎月	スタッフ会 ふれあい収集 (ごみ排出困難者支援:毎週水曜日)		
その他	※ 定期的に大洲・八幡浜圏域の就労支援事業所やハローワーク、就業・生活センター、共同受窓口等、関係機関との連絡会等に参加し情報を共有してい る。		

相談支援事業所こすもす

(1) 行動指針

① 特定相談支援事業、障害児相談支援事業（西予市指定）

障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱えるニーズ及び地域課題の解決や適切なサービスの利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細やかな支援を行います。

② 一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援)（愛媛県指定）

長期入院、入所している方が地域生活へ移行するための支援や、常に連絡がとれる体制を確保し、緊急に支援が必要な事態が生じた際に、緊急訪問や相談などの必要な支援を行い、地域生活の継続を目指します。

③ 西予市委託相談支援事業

相談支援を通じ、西予市障害者(児)の生活の援助を行います。

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	本人の思いを重視したサービス等利用計画の作成、モニタリングの実施	<ul style="list-style-type: none">面談、聞き取りにて利用者の方のニーズをしっかりと把握することで本人が安心して生活出来る計画の作成に努めました。年間計画作成数：123件個々に応じた定期的なモニタリングを行い、サービスの起動修正、見直し、支援体制、計画の変更など問題解決に努めました。また、サービス等利用計画に位置付けた福祉サービス事業所等を訪問しサービス提供場面を確認することにも努めました。年間モニタリング作成数：389件各市町と連携を図りながら、その方に合った福祉サービスへ繋げることが出来るよう支援に努めています。
	訪問相談	<ul style="list-style-type: none">定期的な自宅訪問を行ない、現状把握に努めています。問題や依頼があれば随時訪問させて頂き支援しています。事業所の携帯電話にて24時間365日体制で受け付けています。休日や夜間なども電話相談にて対応できました。年間相談件数：2325人
社会に対する基本姿勢	関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none">定期的に各事業所を訪問し、サービス管理者や担当職員と情報共有を行いました。また、地区担当保健師や医療機関とも連携を図り必要時にはカンファレンス開催し問題解決に努めました。児童発達支援事業所、特別支援学校との連携を行い、本児及び保護者の意向を汲み取りながら、定期的な学校の進路学習会にも出席し、進路やサービス利用の相談等を行いました。
	自立支援協議会、基幹相談支援センターの整備に向けた動き	<ul style="list-style-type: none">毎月市役所にて実施されている西予市相談支援定例会に出席し現状や困りごと等の報告相談を行っています。精神障害者社会復帰連絡会等から地域課題の抽出は出ているが、自立支援協議会が開催されていないのが現状です。
	法人後見事業の運用	<ul style="list-style-type: none">全国権利擁護支援ネットワークに入会しました。法人後見事業の研修に参加
	精神保健関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none">八幡浜保健所から会議出席依頼があり出席し医療機関や保健師との情報共有に努めています。事例があれば受け入れ体制を整えていますが支援会議で決定者が挙がってこないこともあります。平成30年度は対象利用者はありませんでした。

区分	重点項目	平成30年度取組報告
福祉人材に対する基本姿勢	資格取得の推進	<ul style="list-style-type: none"> こすもす3名の相談支援専門員が平成30年度愛媛県障がい者相談支援従事者現任研修を修了しました。 相談支援従事者現任研修を取得したことにより事業所加算IVを取得することが出来ました。
	専門知識の習得	<ul style="list-style-type: none"> 強度行動障害研修受講しました。 相談支援専門に特化する研修に参加させて頂きました。
マネジメントに対する基本姿勢	高齢化に向けた基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> 対象者がスムーズに介護保険へ移行できるように居宅介護支援事業所と連携を図りました。 平成30年度は3名の方が介護保険に移行されました。
	成長支援制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> 成長支援制度を取り入れて個人目標を立てて取り組みました。また、成長支援制度の研修にも参加しました。
	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> 職員会にて法人理念、基本方針を唱和し周知を図りました。 虐待研修への参加 個人情報への取り扱いへの配慮に努めました。

(3) 実施事業報告

月	業務内容	研修(OJT)	その他
4月	年間を通じて、その都度、利用者に応じた支援を行う	相談定期会議(1/週) 国内研修(防火管理)	南予相談支援専門員連絡会 相談支援定例会
5月	*計画立案、サービス担当者会議の開催	相談定期会議	相談支援定例会 精神障害者社会復帰連絡会 関係機関連絡会
6月	*状況に応じたモニタリングの実施	相談定期会議 国内研修(介護技術)	相談支援定例会 地域移行支援会議
7月	*関係機関との連絡調整	国内研修(救命救急) 相談定期会議	特別支援学校進路学習会 相談支援定例会 相談支援従事者現任研修 強度行動障害研修
8月	*制度についての理解を深める研修への参加	相談定期会議 国内研修(救命救急)	相談支援定例会 法人後見推進研修会
9月	*自立支援協議会等への積極的な働きかけを行う	相談定期会議	特別支援学校進路学習会 合同説明会inなんよ 権利擁護事業研修会 相談支援従事者現任研修 精神障害者社会復帰連絡会 相談支援定例会
10月		相談定期会議 国内研修(虐待・拘束・感染症予防)	南予相談支援専門員連絡会 平成30年度一般相談支援実地指導 合同説明会inなんよ 相談支援定例会
11月		相談定期会議 法人地域連携研修	相談支援定例会 サビ管研修(地域) 地域移行支援会議

月	業務内容	研修(OJT)	その他
12月	年間を通じて、その都度、利用者に応じた支援を行う *計画立案、サービス担当者会議の開催 *状況に応じたモニタリングの実施 *関係機関との連絡調整 *制度についての理解を深める研修への参加 *自立支援協議会等への積極的な働きかけを行う	相談定期会議 園内研修(強度行動障害)	相談支援定例会 精神障がい・発達障がいのある方への就労支援研修
1月		相談定期会議	南予相談支援専門員連絡会 精神保健連絡会 高次脳機能障害研修 相談支援リーダー研修 特別支援学校進路学習会 相談支援定例会
2月		相談定期会議 園内研修(危険予知訓練)	関係機関連絡会 地域移行支援会議 相談支援定例会 精神障害者社会復帰連絡会
3月		相談定期会議	相談支援定例会

* 7月豪雨災害にて研修会や連絡会が中止となった会議もありました。

指定障害者支援施設野村学園

(1) 行動指針

- ① 利用者の尊厳を大切にします
- ② 家族との絆を深めます
- ③ 職員は夢を持ち笑顔で邁進します
- ④ 安心して暮らせる地域社会を築きます
- ⑤ 法令を遵守します

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	プライバシー保護	支援マニュアル検討委員会の設置を検討段階であり、マニュアル作成に至っていない。今年度も継続して取り組んでいく予定です。
	日中活動の充実	毎月日中活動予定表を作成し、計画的に活動することが出来ました。西日本豪雨災害があり、施設周辺の環境が悪化しているため、今まで力を入れていた体力作りのための歩行訓練の時間が減少しました。
	個別支援の充実	想いマップを活用して、本人の意向に沿った個別外出を計画して実施することができました。
	生活環境・利用環境の向上	個別の空間作りに、パーテーション等を利用して仕切りを作ったことで、一人スペースが確保されました。施設が老朽化しているため、可能な限り修繕をして対応しました。
	ボランティア活動	毎月1回、野村ダム周辺の清掃ボランティアを実施しています。日中活動でも、定期的に道路清掃を行い、周辺道路の清掃活動をしています。休日には、部落行事に積極的に参加することができました。
	地域行事への参加	あさぎり湖マラソン大会は施設行事として取り組んでおり、大会に参加・応援・ミストシャワーボランティアを行いました。
福祉人材に対する基本姿勢	魅力ある職場づくり	各部署で、協力して目標設定を行いました。個人の役割を明確にして、全員が目標達成に向けて取り組むことが出来ました。成長支援制度を通じて、現在の職場環境を見直すいいきっかけになりました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	諸規則・諸規定類は職員室に置いてあり、誰でも確認出来るようになっています。また、パソコンの共有ホールダーの中には最新のデータが入力されています。
	経営マネジメント	障害児入所施設関係者会議が平成30年度に2回開催され、今後の県内の障害児入所施設の方向性を検討中です。障害者支援施設のみか、障害者・障害児入所施設の併設あるいは単独での経営か、引き続いて情報収集・検討中です。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	その他
4月	希望外出 利用者内科検診 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修	保護者会総会 広報誌発行
5月	利用者・職員健康診断 希望外出 朝霧湖マラソン大会 愛媛県障害者スポーツ大会 南予福祉施設会ソフトボール大会 火災避難訓練及び消火訓練	第1回国内研修会 第2回国内研修会	大瀬中学校 交流会
6月	希望外出 南予福祉施設会バレーボール大会 ソフトボール大会(県予選) 火災避難訓練及び消火訓練	新任職員研修会 第1回施設長会 第3回国内研修会	広報誌発行
7月	希望外出 県ソフトボール大会 火災避難訓練及び消火訓練	中国・四国地区知的障害 関係職員研究協議会(島根) 四国地区施設長会	
8月	希望外出 お盆休み送迎サービス 火災避難訓練及び消火訓練	四国地区職員研修会 第1回職員研修会	
9月	希望別旅行 希望外出 こまどり号歯科検診 火災避難訓練及び消火訓練	愛媛県障害者権利擁護セミナー	広報誌発行
10月	希望別旅行 福祉まつり ゆうあいスポーツ四国大会 火災避難訓練及び消火訓練	第4回国内研修会	第1回保護者会 役員会
11月	学園祭 希望外出 マンダリンバイレーツ交流会 職員特定健康診断 乙亥祭外出 インフルエンザ予防接種 火災避難訓練及び消火訓練	日中活動支援部会全国大会 全国知的障害関係職員研究大会 第2回職員研修会 南予施設会職員合同研修会	
12月	クリスマス会、希望外出 大掃除 年末年始送迎サービス 火災避難訓練及び消火訓練	第5回国内研修会 (普通救命講習) 南予企画委員会	広報誌発行 保護者会交流会
1月	初詣 希望外出 もちつき大会 火災避難訓練及び消火訓練	青年部冬季研修会 県施設長会 障害者支援施設部会全国 大会(岩手) 第6回国内研修会	
2月	希望外出 節分まめまき 火災避難訓練及び消火訓練	四国地区施設長会 第7回国内研修会 (事例報告会)	広報誌発行
3月	バス遠足 希望外出 火災避難訓練及び消火訓練		第2回保護者会 役員会

毎月行事	*職員会、各寮会
	*総務委員会、自立支援衛生推進委員会、防災対策・事故防止委員会
	保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、日中活動委員会(年2回)
	エルダー委員会(年3回)、苦情解決虐待防止委員会(随時)、広報委員会(随時)

(4) 利用者利用状況等

○施設入所利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,200	1,120	93.3%	94.6%
5	1,240	1,191	96.1%	94.8%
6	1,200	1,180	98.3%	94.0%
7	1,240	1,143	92.2%	94.8%
8	1,240	1,143	92.2%	92.3%
9	1,200	1,163	96.9%	94.7%
10	1,240	1,194	96.3%	96.9%
11	1,170	1,130	94.2%	98.5%
12	1,209	1,139	91.9%	94.4%
1	1,240	1,140	91.9%	90.7%
2	1,120	1,097	98.0%	97.3%
3	1,240	1,220	98.4%	92.2%
合計	14,539	13,860	94.9%	94.6%

○生活介護利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	880	829	94.2%	95.9%
5	920	893	97.1%	94.9%
6	880	864	98.2%	94.3%
7	920	849	92.3%	95.3%
8	920	880	95.7%	95.9%
9	880	855	97.2%	95.7%
10	920	888	96.5%	97.9%
11	897	835	90.8%	99.2%
12	897	878	95.4%	98.3%
1	920	884	96.1%	94.5%
2	800	786	98.3%	97.5%
3	920	907	98.6%	92.7%
合計	10,754	10,348	95.8%	96.0%

入所者障害支援区分別 (H31年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6
0	3	14	23

平均支援区分 5.5

男性 22名 女性 18名

平均年齢 45.0歳

障害児入所施設野村学園（第二障害者支援施設野村学園）

(1) 行動指針

- ① 利用者の尊厳を大切にします
- ② 家族との絆を深めます
- ③ 職員は夢を持ち笑顔で邁進します
- ④ 安心して暮らせる地域社会を築きます
- ⑤ 法令を遵守します

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	プライバシー保護	支援マニュアル検討委員会の設置を検討段階であり、マニュアル作成に至っていない。今年度も継続して取り組んでいく予定です。
	日中活動の充実	毎日日中活動予定表を作成し、計画的に活動することが出来ました。西日本豪雨災害があり、施設周辺の環境が悪化しているため、今まで力を入れていた体力作りのための歩行訓練の時間が減少しました。
	個別支援の充実	想いマップを活用して、本人の意向に沿った個別外出を計画して実施することができました。
	生活環境・利用環境の向上	個別の空間作りに、パーテーション等を利用して仕切りを作ったことで、一人スペースが確保されました。施設が老朽化しているため、可能な限り修繕をして対応しました。
	ボランティア活動	毎月1回、野村ダム周辺の清掃ボランティアを実施しています。日中活動でも、定期的に道路清掃を行い、周辺道路の清掃活動をしています。休日には、部落行事に積極的に参加することが出来ました。
	地域行事への参加	あさぎり湖マラソン大会は施設行事として取り組んでおり、大会に参加・応援・ミストシャワーボランティアを行いました。
福祉人材に対する基本姿勢	魅力ある職場づくり	各部署で、協力して目標設定を行いました。個人の役割を明確にして、全員が目標達成に向けて取り組むことが出来ました。成長支援制度を通じて、現在の職場環境を見直すいいきっかけになりました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	諸規則・諸規定綴りは職員室に置いてあり、誰でも確認出来るようになっています。また、パソコンの共有ホールダーの中には最新のデータが入力されています。
	経営マネジメント	障害児入所施設関係者会議が平成30年度に2回開催され、県関係者・県内障害児入所施設関係者で話し合いを行いました。南予地区でも障害児入所施設を設置するという県の意向があり、野村学園が事業を継続していく方向性が出ています。新たな障害者支援施設の認可も含めて、今後も協議を行っていく予定です。

(3) 行事報告 (障害児入所施設野村学園・第二障害者支援施設野村学園)

月	行 事	研修 (OJT)	その他の会議
4月	希望外出 利用者内科検診 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修	保護者会総会 保護者会研修会 広報誌発行
5月	利用者・職員健康診断 希望外出 朝霧湖マラソン大会(参加・応援) 火災避難訓練及び消火訓練・遠足 愛媛県障害者スポーツ大会 南予福祉施設会ソフトボール大会(当番施設)	第1回園内研修会 第2回園内研修会	大瀬中学校 交流会
6月	平成病院往診 希望外出 南予福祉施設会バレーボール大会 ソフトボール大会(県予選) 火災避難訓練及び消火訓練	新任職員研修会 第1回施設長会 第3回園内研修会	広報誌発行
7月	希望外出 県ソフトボール大会 火災避難訓練及び消火訓練	中国・四国地区知的障害 関係職員研究協議会(島根) 四国地区施設長会 全国知的障害関係施設長 等会議(東京)	
8月	希望外出 学童日帰り旅行 お盆休み送迎サービス 火災避難訓練及び消火訓練	四国地区職員研修会 第1回職員研修会	
9月	希望別旅行2泊3日 希望外出 こまどり号歯科検診 火災避難訓練及び消火訓練	愛媛県障害者権利擁護セミナー	広報誌発行
10月	県レクバレー大会 福祉祭り 希望別旅行1泊2日 児童部日帰り近場旅行 ゆうあいスポーツ四国大会 火災避難訓練及び消火訓練	第4回園内研修会	保護者会 役員会 (第1回)
11月	マンダリンバイレーツ交流会 学園祭 職員特定健康診断 乙亥外出、希望外出 インフルエンザ予防接種 火災避難訓練及び消火訓練	日中活動支援部会全国大会 全国知的障害関係職員研究大会 第2回職員研修会 南予施設会職員合同研修会	
12月	クリスマス会 大掃除、希望外出 平成病院往診 年末年始送迎サービス 火災避難訓練及び消火訓練	第5回園内研修会 (普通救命講習) 南予企画委員会	広報誌発行 あさぎりクリスマス会 保護者会 交流会
1月	初詣 もちつき大会 希望外出 火災避難訓練及び消火訓練	青年部冬季研修会 県施設長会 第6回園内研修会 障害者支援施設部会全国 大会(岩手)	
2月	希望外出 節分豆まき 火災避難訓練及び消火訓練	四国地区施設長会 第7回園内研修会(事例報告会)	広報誌発行
3月	遠足、希望外出 火災避難訓練及び消火訓練		保護者会役員会 (第2回)
毎月 行 事	※喫茶コーナー(月3~4回) ※職員会、各寮会 ※総務委員会、自立支援衛生推進委員会、安全防災対策・事故防止委員会 保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、日中活動委員会 エルダー委員会(年3回) 広報委員会(随時) 苦情解決虐待防止委員会(随時)		

(4) 施設入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	840	827	98.5%	99.4%
5	868	853	98.3%	98.2%
6	840	838	99.8%	98.6%
7	868	865	99.6%	99.6%
8	868	821	94.6%	95.0%
9	840	831	98.9%	98.4%
10	868	856	98.6%	98.4%
11	840	837	99.6%	99.9%
12	868	836	96.3%	96.2%
1	868	822	94.7%	94.4%
2	784	781	99.6%	99.7%
3	868	861	99.2%	99.5%
合計	10,220	10,028	98.1%	98.1%

(5) 生活介護利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	616	604	98.0%	99.3%
5	644	631	98.0%	97.4%
6	616	610	99.0%	98.5%
7	644	640	99.4%	99.8%
8	644	627	97.4%	98.1%
9	616	609	98.9%	98.3%
10	644	631	98.0%	98.6%
11	616	614	99.7%	99.8%
12	644	643	99.9%	99.5%
1	644	629	97.7%	98.1%
2	560	555	99.1%	99.5%
3	644	638	99.1%	99.7%
合計	7,532	7,431	98.7%	98.9%

入所者障害支援区分別 (H30年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6
0	3	8	17

平均支援区分 6.50

男性 21名 女性 7名

平均年齢 33.4歳

(6) 障害児入所施設利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	390	390	100.0%	100.0%
5	403	398	98.8%	100.0%
6	390	390	100.0%	100.0%
7	403	403	100.0%	93.1%
8	403	395	98.0%	100.0%
9	390	384	98.5%	100.0%
10	403	403	100.0%	100.0%
11	390	388	99.5%	98.6%
12	403	399	99.0%	99.3%
1	403	386	95.8%	99.0%
2	336	335	99.7%	100.0%
3	372	356	95.7%	98.8%
合計	4,686	4,627	98.8%	99.1%

男性 10名 女性 2名

平均年齢 13.3歳

放課後児童健全育成事業所のむらキッズ・しろかわキッズ

(1) 行動指針

- ① 生きがいのある支援ができるよう利用者の気持ちを理解とともに歩みます
- ② 家族等との連絡を密にし絆をともに深めます
- ③ 利用者・職員の夢が叶うようにともに邁進します
- ④ 地域行事に参加し地域社会をともに築きます
- ⑤ 決められたことを守り個人・事業所・法人の成長をともに目指します

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	職務遂行に必要な知識・技術、資質向上の研修	放課後児童支援員資質向上研修や、児童指導員認定資格研修を通して、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、適切な支援が出来るよう職員の資質向上を図りました。
	活動内容の充実	豪雨災害のため、例年実施していた行事が中止になり、活動内容の充実を図ることは出来ませんでした。
	環境整備	安全で衛生的な環境を確保し、子どもたちが安定した生活が送れるよう配慮しました。 創造性に富む玩具等を準備し、各自が興味を持った遊びに集中できるよう環境を整えました。
社会に対する基本姿勢	職場体験の受け入れ	野村中学校の職場体験の受け入れを行いました。
	広報誌の発行	外部に向けての広報誌発行は出来ませんでしたが、毎月キッズ便りを発行し、保護者に情報発信を行いました。
福祉人材に対する基本姿勢	児童福祉施設最低基準38条に基づく有資格者の確保	有資格者ではありませんが、6月から1名と12月から1名職員を確保しました。
	児童指導支援員の確保	放課後児童支援員認定資格研修に4名が参加し、認定資格を取得しました。
マネジメントに対する基本姿勢	パート職員への協会理念の徹底	毎月の職員会で、キッズ内の問題を出し合って話し合いを行い、協会の理念に沿った行動が取れるよう、職員に自覚を促しました。

(3) 行事報告 (放課後児童健全育成事業所のむらキッズ)

月	行事	研修 (OJT)	その他
4月			
5月		第一回学童フェスタ準備会 AED講習	野村小学校の先生との情報交換会 保護者会総会
6月		放課後児童支援員認定資格研修 第二回学童フェスタ準備会	
7月	四電エネルギー授業		豪雨災害のため、野村小学校へ引っ越し

月	行 事	研修 (OJT)	その他の活動
8月	西予市主催の公民館行事に参加 お楽しみ会		
9月			
10月		放課後児童支援員認定資格研修	西予市放課後子ども総合プラン運営委員会
11月		放課後児童指導員等資質向上研修 (地区別研修会)	
12月	クリスマス会 大掃除		第一回西予市子ども・子育て会議 野村小学校よりゆめちゃんこに戻る
1月			
2月			新入学児保育募集説明会 野村小学校の先生との情報交換会
3月			保護者会総会 奉仕作業 第二回西予市子ども・子育て会議 西予市放課後子ども総合プラン運営委員会
毎月	誕生会・避難訓練	職員会	キッズ便り発行

※豪雨災害のため、小学校で運営中の7月から12月に於いては避難訓練を中止。

(4) 行事報告 (放課後児童健全育成事業所しろかわキッズ)

月	行 事	研修 (OJT)	その他の活動
4月			
5月		第一回学童フェスタ準備会	保護者会総会
6月		放課後児童支援員認定資格研修 第二回学童フェスタ準備会	保護者会による草刈り実施
7月			保護者会による草刈り実施 プール監視 (夏季休業中)
8月	お楽しみ会		保護者会による草刈り実施 プール監視 (夏季休業中)
9月			保護者会による草刈り実施
10月			保護者会による草刈り実施
11月		放課後児童指導員等資質向上研修 (地区別研修会)	
12月	クリスマス会 大掃除		第一回西予市子ども・子育て会議
1月			
2月			新入学児保育募集説明会
3月			第二回西予市子ども・子育て会議 西予市放課後子ども総合プラン運営委員会 保護者会総会
毎月	誕生会・避難訓練	職員会	キッズ便り発行

※避難訓練は7月より毎月実施

(5) 利用者状況等

のむらキッズ

1、利用学童数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
29年度	953	871	913	934	902	865	858	763	767	725	698	819
30年度	1011	884	781	562	692	633	821	752	727	687	738	718

合計

2、登録児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
29年	男児	13	12	7	4	1	0	37
	女児	8	4	6	5	1	1	25
	合計	21	16	13	9	2	1	62
30年	男児	16	6	8	5	0	0	35
	女児	5	13	3	6	4	0	30
	合計	21	19	11	10	4	0	65

29年度 10,068

30年度 8,996

しろかわキッズ

1、利用学童数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
29年度	233	203	133	204	265	148	162	154	147	98	114	152
30年度	258	264	264	257	328	206	318	279	270	250	241	212

合計

29年度 2,013

30年度 3,147

2、登録児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
29年	男児	4	1	1	1	3	0	10
	女児	3	3	3	1	1	1	12
	合計	7	4	4	2	4	1	22
30年	男児	4	4	1	1	0	3	13
	女児	4	3	2	2	1	0	12
	合計	8	7	3	3	1	3	25

12 事業所別事業報告 【高齢者福祉部会】

介護現場においては、社会福祉法や介護保険法等の改正により、迅速かつ適切な組織改革に取り組むことが求められ、地域とのかかわりにおいては、社会経済・家族形態等の変化に伴い多様化・複雑化する福祉ニーズへの対応や社会貢献が求められています。

当部会ではこのような状況を踏まえ、安定した経営・運営を図るとともに、各事業所による介護サービスのさらなる充実に向けたケアに加え、専門部会及び関係機関等との連携を図りながら、各種研修会や勉強会等に参加して専門職としの知識・技術を習得し、地域に必要とされる人材・施設づくりを目指し、下記重点目標等に沿った各事業を実施いたしました。

重点項目及び重点事業

1) 介護技術や知識の向上・人材育成

- ・当部会が中心となり、介護技術伝達講習会を実施し介護技術の向上を図り、各事業所の介護伝達スタッフが指導者となり、介護マイスター勉強会を開催し、後継者の育成と個人スキル表で一人一人の介護力アップに努めました。
- ・外部研修会に積極的に参加し、専門職としての知識・技術の習得に努め、内部研修では、専門職員が講師を務めたり外部講師を招き勉強会を開催いたしました。

2) 経営の健全化・経費節減

- ・稼働率は、特養においては目標値以上の達成率で、通所事業所は利用者の減少もありましたが、ほぼ達成しました。また、特定施設入所者生活介護事業所に向けて準備を行い、31年4月から事業所営業開始になりました。
- ・電力会社の変更、節水システム導入、照明のLED化等、各事業所で光熱水費の削減に努めました。

3) 業務内容とサービスの統一化

- ・専門職ごとに5つの専門部会を設置し、課題の抽出と検討を行いながら、当部会と連携を図りながら業務内容の統一化に取り組みました。
- ・福祉サービス第三者評価をもとに、当部会及び専門部会で評価結果の分析を行い各事業所の業務内容の統一化と福祉サービスの質の向上に努めました。

4) 施設の整備

- ・各事業所において経年劣化に伴い、福祉車両・大型電気機械器具・福祉機器の買い替えを行いましたが十分な取り替えが出来ておらず、引き続き計画的な取り組みが必要です。また空調設備工事や建物屋根の補修工事を行いました。

5) 介護教室・介護体験・福祉授業

- ・野村町や城川町の保育児・小学生・中学生を対象にした介護教室や介護体験で交流を深めました。
- ・野村高等学校2年生を対象とした福祉(介護)授業を実施することで、福祉関係のさまざまな職種を理解してもらい、福祉の仕事に繋がるように取り組みました。

6) 地域貢献

- ・各事業所において、介護教室等の独自の地域交流と地域貢献活動の展開と福祉避難所や浴室(7月豪雨)を提供しました。また、地域と共生することの大切さを認識し、施設職員としてできる活動(消防団・青年団・ボランティア団体等)を行いました。

特別養護老人ホーム法正園

(1) 行動指針

「あなたの笑顔が私の笑顔です」

①人権の尊重

わたしたちは、利用者一人ひとりの尊厳を大切にし、安心できる生活環境を創出します。

②人材育成

わたしたちは、常に知識とスキルの向上を目指し、感謝の気持ちと笑顔を絶やすことなく自らを成長させることのできる職場作りに努めます。

③地域への貢献

わたしたちは、社会事業を通して、地域の人々が安心して住み続けられる社会づくりに貢献します

(2) 事業報告

区分	取組み(詳細)	取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護研修の実施と、虐待チェックリストを活用した研修を行いました。 身体拘束廃止と虐待防止については、毎月委員会で検討しましたが、特に問題はありませんでした。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 利用者及び家族に対してサービス満足度調査を実施し、概ね満足していただけましたが、寄せられた意見に対しては改善を行いました。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> 夕涼み会は、豪雨災害があったため中止しました。 地域の方々やボランティアグループを対象に、6月と10月に介護に関する講習会をなごみホールで開催しました。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> 居室傾斜鏡は、必要な入居者の居室8室を交換しました。 車椅子は、低床モジュール型を3台購入しました。 ベッドは、安全面を考慮し超低床ベッドを2台購入しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 豪雨災害時に、福祉避難所として対象者3名とその家族を受け入れました。 夜間避難訓練には法正地区の方も参加してもらいました。 ボランティアは、1グループほぼ毎月定期的に受け入れています。他、保育所等との交流会を行いました。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌は3回発行し、内1回は法正地区と公園団地地区にも配布しました。 ホームページのブログについては、随時更新しました。 第三者評価の結果を愛媛県ホームページにて公表しています。
福祉人材に対する基本	人材のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 理念の周知徹底のため職員会や委員会での一齊唱和を実施しています。
	人材確保	<ul style="list-style-type: none"> 法人で野村高校出前講座を行いました。 福祉体験ボランティア等を受け入れました。
	人材の定着	<ul style="list-style-type: none"> 労働災害防止のために、移乗用リフトの導入を委員会等で検討し、平成31年度に4機購入するために補助を申請しました。

姿勢	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士資格取得に向け職員に情報提供を行いました。 成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。 介護技術向上研修に2名参加し、施設内で介護教室（介護マイスター）を月2回行いました。 ユニットリーダー研修2名受講し資格を取得しました。 喀痰吸引研修2名受講し資格を取得しました。
区分 マネジメントに対する基本姿勢	取組み(詳細) コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> 就業規則を掲示し、変更点等については職員会で説明を行いました。
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> 適正収益の確保のため、空床期間の短縮と要介護度の適正化に取り組み、稼働率が向上し介護報酬が増加しました。 電気デマンドの周知徹底と共有スペースをLED化したことにより電力消費が減少しました。 口腔ケア加算を継続して取ることができます。

(3) 行事報告

月	行 事	研修(OJT等)	その 他
4月		成長支援目標設定研修	西予市老施協総会 南予老施協総会 県老施協総会
5月	家族ふれあいデー 健康診断 西予老施協合同遠足 介護相談員受入	看取り研修	家族会役員会・総会 広報誌発行第240号
6月	保育所交流会 なごみホール介護教室 野村高校ボランティア受入	感染症・食中毒予防研修 ネットワーキング研修 法人リーダー研修	県指導監査 県老人福祉施設大会 野村中学校・高校出前講座
7月	※7/7豪雨災害で廊下と中町2丁目に雨水が流入 停電2日、断水9日間、東中ネット合同生活10日間 福祉避難所開設：延べ10名		※7/17～8/26被災した伊ビスセンターふれあいが、なごみホールで営業
8月	福祉避難所開設：延べ13名 夕涼み会中止	法人リーダー研修	西予市社会福祉法人連絡会
9月	福祉避難所開設：延べ20名 敬老会　秋の法要 介護相談員受入	認知症研修 成長支援フォローサポート 法人リーダー研修	広報誌発行第241号
10月	なごみホール介護教室 野村高校インクンシップ受入 西予市老施協演芸大会	虐待・身体拘束研修 ネットワーキング管理者・リーダー研修 法人リーダー研修 喀痰吸引実地研修	顧客満足度調査 協会奉仕作業 野村高校出前講座
11月	健康診断 ストレスチェック	感染症対策研修 法人リーダー研修 介護職部会施設視察研修	南予巡回型介護教室 法人地域連携講演会 西予市老施協職員交流会
12月	クリスマス会 家族会大掃除	事故発生防止研修 法人リーダー研修 ネットワーキング施設視察研修 喀痰吸引実地研修	南予巡回型介護教室 シェイクアウトえひめ 南予地区合同災害訓練 西予市社会福祉法人連絡会
1月	お年より 初詣外出	成長支援評価者研修	広報誌発行第242号

月	行 事	研修(OJT等)	そ の 他
2月	介護相談員受入	褥瘡ケア・感染症研修 事故発生防止研修 運営状況研修 喀痰吸引実地研修	
3月	ひな祭り 春の法要 地域医療人育成プログラム受入 介護人材育成セミナー実習受入	虐待・身体拘束研修 成長支援巡回懇談 法人新人職員研修	西予市老施協施設長相談員会 県・南予老施協第2回総会
毎月		各ユニット食事会(誕生日会)、職員会、運営委員会、リーダー会、各ユニット会、個別ケア推進委員会、食事・排泄委員会、入浴・介護技術委員会、企画委員会 OJT委員会、編集委員会 セイフティー委員会(褥瘡対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束・虐待対策) クオリティー委員会(給食、サービス、業務改革)、内部研修会 介護マイスター、介護技術伝達講習会、あかし歯科検診	
定期		カンファレンス、エルダー委員会、セイフティー委員会(防災対策、安全衛生推進) クオリティー委員会(感染症予防対策、医療的ケア) 入所検討委員会(4、7、10、1月) 合同職員会(2ヶ月毎)、内科回診(火・水)、ユニット炊飯(毎週木曜日)	
随時	避難訓練、地域行事外出、交流会、里帰り、高齢者部会等各法人委員会、法人研修会		
毎日	口腔体操、機能訓練(月・水・金)		

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,467	97.8%	96.1%
5	1,550	1,525	98.4%	95.2%
6	1,500	1,494	99.6%	94.4%
7	1,550	1,549	99.9%	99.3%
8	1,550	1,519	98.0%	99.7%
9	1,500	1,483	98.9%	96.3%
10	1,550	1,494	96.4%	98.7%
11	1,500	1,440	96.0%	97.4%
12	1,550	1,510	97.4%	96.6%
1	1,550	1,499	96.7%	93.3%
2	1,400	1,359	97.1%	94.1%
3	1,550	1,536	99.1%	99.6%
合計	18,250	17,875	97.9%	96.7%

利用者要介護度別 (H31年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	1	7	19	23

平均介護度 4.28
 男性 9名 女性 39名
 平均年齢 88.5歳

短期入所生活介護事業所法正園

(1) 行動指針

在宅要介護高齢者の利用ニーズに応えるため、利用者主体のサービスを念頭に居宅介護支援事業者や家族との緊密な連携に努めます。また、サービスを提供することにより、家族の身体的精神的負担の軽減を図るとともに利用者の社会的孤立感を解消し、生活の助長を図ることを目的とします。

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護研修の実施と、虐待チェックリストを活用した研修を行いました。 ・身体拘束廃止と虐待防止については、毎月委員会で検討しましたが、特に問題はありませんでした。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の緊急な都合により送迎時間の変更や家庭に近い居室レイアウトで対応し過ごして頂きました。
	家族との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・入所される前日には、電話連絡し状態確認と送迎時間等の把握を行いました。 ・家族さん、居宅ケアマネと連携を密にし出来るだけ家庭と同じ対応をしました。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度調査を利用頻度の高い方、家族にお願いし要望や評価を確認し改善に繋げました。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・居室傾斜鏡は、必要な入居者の居室8室を交換しました。 ・車椅子は、低床モジュール型を3台購入しました。 ・ベッドは、安全面を考慮し超低床ベッドを2台購入しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・豪雨災害時に、福祉避難所として対象者3名とその家族を受け入れました。 ・夜間避難訓練には、法正地区の方も参加してもらいました。 ・ボランティアは、1グループほぼ毎月定期的に受け入れています。他、保育所等との交流会を行いました。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・発行の前月と前々月ご利用の方に広報誌を発行し行事等の取り組みや施設内の雰囲気を伝えることが出来ました。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の周知徹底のため職員会や委員会での一齊唱和を実施しています。
	人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・法人で野村高校出前講座を行いました。 ・福祉体験ボランティア等を受け入れました。
	人材の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害防止のために、移乗用リフトの導入を委員会等で検討し、平成31年度に4機購入するために補助を申請しました。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士資格取得に向け職員に情報提供を行いました。 ・成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。 ・介護技術向上研修に2名参加し、施設内で介護教室（介護マイスター）を月2回行いました。 ・ユニットリーダー研修2名受講し資格を取得しました。 ・喀痰吸引研修2名受講し資格を取得しました。
	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則を掲示し、変更については職員会で説明を行いました。

マネジメントに対する基本姿勢	重点項目	平成30年度取組報告
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> 適正収益の確保のため、空床期間の短縮と要介護度の適正化に取り組み、稼働率が向上し介護報酬が増加しました。 電気デマンドの周知徹底と共有スペースをLED化したことにより電力消費が減少しました。 口腔ケア加算を継続して取ることができます。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT等)	その 他
4月		成長支援目標設定研修	西予市老施協総会 南予老施協総会 県老施協総会
5月	家族ふれあいデー 健康診断 西予老施協合同遠足 介護相談員受入	看取り研修	家族会役員会・総会 広報誌発行第240号
6月	保育所交流会 なごみホール介護教室 野村高校ボランティア受入	感染症・食中毒予防研修 ユニットケアリーダー研修 法人ネストリーダー研修	県指導監査 県老人福祉施設大会 野村中学校・高校出前講座
7月	※7/7豪雨災害で廊下と中町2丁目に雨水が流入 停電2日、断水9日間、東中ネット合同生活10日間 福祉避難所開設:延べ10名		※7/17~8/26被災したデイサービスセンターふれあいが、なごみホールで営業
8月	福祉避難所開設:延べ13名 夕涼み会中止	法人ネストリーダー研修	西予市社会福祉法人連絡会
9月	福祉避難所開設:延べ20名 敬老会 秋の法要 介護相談員受入	認知症研修 成長支援ワーカー懇談 法人リーダー研修	広報誌発行第241号
10月	なごみホール介護教室 野村高校バーンシップ受入 西予市老施協演芸大会	虐待・身体拘束研修 ユニット管理者・リーダー研修 法人ネストリーダー研修 喀痰吸引実地研修	顧客満足度調査 協会奉仕作業 野村高校出前講座
11月	健康診断 ストレスチェック	感染症対策研修 法人リーダー研修 介護職部会施設視察研修	南予巡回型介護教室 法人地域連携講演会 西予市老施協職員交流会
12月	クリスマス会 家族会大掃除	事故発生防止研修 法人リーダー研修 ユニットケア施設視察研修 喀痰吸引実地研修	南予巡回型介護教室 シェイクアウトえひめ 南予地区合同災害訓練 西予市社会福祉法人連絡会
1月	お年とり 初詣外出	成長支援評価者研修	広報誌発行第242号
2月	介護相談員受入	褥瘡ケア・感染症研修 事故発生防止研修 運営状況研修 喀痰吸引実地研修	

月	行 事	研修(OJT等)	その 他
3月	ひな祭り 春の法要 地域医療人育成プログラム受入 介護人材育成セミナー実習受入	虐待・身体拘束研修 成長支援巡回懇談 法人新人職員研修	西予市老施協施設長相談員会 県・南予老施協第2回総会
毎月	各ユニット食事会(誕生会)、職員会、運営委員会、リーダー会、各ユニット会、個別研修推進委員会 食事・排泄委員会、入浴・介護技術委員会、企画委員会、OJT委員会、編集委員会 セイフティー委員会(衛生対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束・虐待対策) クオリティー委員会(給食、ナース、業務改革)、内部研修会 介護マイスター、介護技術伝達講習会、あかし歯科検診		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、セイフティー委員会(防災対策、安全衛生推進) クオリティー委員会(感染症予防対策、医療的ケア)、入所検討委員会(4, 7, 10, 1月) 合同職員会(2ヶ月毎)、内科回診(火・水)、ユニット炊飯(毎週木曜日)		
随時	避難訓練、地域行事外出、交流会、里帰り、高齢者部会等各法人委員会、法人研修会		
毎日	口腔体操、機能訓練(月・水・金)		

(4) 利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者人数	稼働率	前年度稼働率
4	120	104	83.3%	77.5%
5	124	84	67.7%	101.6%
6	120	101	84.2%	90.8%
7	124	86	69.3%	76.6%
8	124	93	75.0%	88.7%
9	120	101	84.2%	102.5%
10	124	111	89.5%	88.7%
11	120	90	75.0%	84.2%
12	124	104	83.0%	91.1%
1	124	94	75.0%	90.3%
2	116	101	90.2%	84.5%
3	124	104	84.0%	55.6%
合計	1,464	1,173	80.3%	86.0%

利用定員 4名
平均介護度 3.12

ディサービスセンターふれあい事業報告

(1) 行動指針

「一期一会の縁を大切にします」

- ① 私たちは、利用者様の満足度向上に努力します。
- ② 私たちは、日々の仕事を通じて、人生を豊かにします。
- ③ 私たちは、一人ひとりの力を組織の力に結集させます。
- ④ 私たちは、高い倫理観を持ち、公正・誠実に行動します。
- ⑤ 私たちは、地域の社会資源として、生きがいを提供します。

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	サービスの質の向上	・顧客満足度調査を実施し、意向の確認を行いました。利用者からの意見を参考にニーズに合ったサービスを提供しました。
	地域との関係向上	・ディでの交流会をイベントして来ていただきました。（保育園1回、幼稚園2回） ・音楽療法やカラオケボランティアにも来ていただきました。
	生活環境・利用環境の向上	・ポスターや重要事項説明など利用者さんが見えやすいように目線の高さに変更し対応しました。 ・在宅生活が安定するように体操や機能訓練を実施しました。
社会に対する姿勢	地域における公益的な取組	・ふれあい館のつどいにて、ディを開放し地域の方に来園して頂きました。 ・お試し利用や介護相談を受けました。
	情報発信	・年4回の広報誌を発行し、家族へ、ディで過ごされている様子等の紹介が出来ました。
福人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	・職員会時に理念を唱和し理念の徹底を図りました。 ・研修会に参加しマニュアルの見直しや業務の整備を行ないました。
	人材の定着に向けた取組の強化	・エルダー制を導入し新人育成に取り組む事ができました。
	人材の育成	・認知症ケアを実践している施設への研修に行きました。 ・認知症介護実践者研修にも1名参加しました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・稼働率80%を目指していましたが、豪雨災害や職員減により、達成できませんでした。（70.63%） ・利用者さんに対する尊厳を守り声掛けに注意する事で苦情はありませんでした。

(3) 実施事業

月	行 事	研修(OJT)	そ の 他
4月	お花見外出	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 介護技術研修	西予老施協総会 南予老施協総会
5月	こいのぼり見学	介護技術研修	県老施協総会、健康診断 デイ広報誌発行
6月		介護技術研修 感染症対策研修(食中毒)	
7月	※7/7: 西日本豪雨災害で断水、停電の為、7/8~16デイ休み。 ※ふれあい館床上浸水の為、7/17(火) 法正園にて営業再開。		
8月	※8/26(日)よりふれあい館にて営業		
9月			奉仕活動 デイ広報誌発行
10月	秋祭り (牛鬼、五つ鹿踊り)		
11月	紅葉狩り外出 乙亥祭り (力士2名来所) 保育所交流 1日体験会	感染症対策(ノロ・インフル) 継続研修発表会(機能訓練)	県指導監査
12月	クリスマス会 干し柿作り	事故発生防止研修	デイ広報誌発行 避難訓練
1月	餽料理 初詣外出 幼稚園交流 保育所交流		
2月	節分行事		
3月	ひな祭り	理学療法士会研修	デイ広報誌発行 避難訓練
毎月	運営委員会・職員会・誕生会		
随時	担当者会議(カンファレンス)・法人委員会		
毎日	ラジオ体操・ADL体操・認知症予防体操・口腔体操		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	754	629	83.4%	73.9%
5	783	645	82.4%	76.2%
6	725	581	80.1%	76.3%
7	522	355	68.0%	80.0%
8	754	460	61.0%	75.9%
9	667	453	67.9%	76.6%
10	783	556	71.0%	77.4%
11	754	568	75.3%	79.0%
12	754	538	71.4%	72.3%
1	754	514	68.2%	63.5%
2	696	511	73.4%	70.8%
3	754	560	74.3%	84.2%
合計	8,700	6,370	73.2%	75.5%

利用定員 29名

1日平均利用 20.48人

営業日 日曜日から金曜日の週5日(元日は除く)

介護度状況(平成31年 3月末現在)

総合事業含む

介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	要支援1	要支援2
20	28	6	8	4	13	12

平均介護度 1.7

男性 26名 女性 65名

平均年齢 88歳

居宅介護支援事業所ふれあい事業報告

(1) 行動指針

- ① 利用者の心身の状況、生活歴、環境等の把握を充分に考慮し、自立した日常生活が送れるよう個別ケアを行います。
- ② 利用者の意思及び人権を尊重し、常に利用者の立場に立って支援します。
- ③ 行政、地域包括支援センター、介護保険施設等との連携に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	・外部、内部の権利擁護・倫理研修会等に積極的に参加しました。
	サービスの質の向上	・個別ケアを意識した関わりやケアプラン作成、また自立支援プラン作成を実施しました。
	地域との関係の向上	・独居や高齢世帯等、支援やサービスの必要なケースにおいて、民生委員等と連携を取り地域との関わりを大切にした支援を実施し情報共有を行いました。
	利用環境の向上	・訪問車1台購入しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公的な取組	・地域包括ケアシステム構築のため、介護医療との連携、地域との連携を実施しました。 ・多職種、専門職との連携を図りチームでの支援を実施しました。また研修会への参加や、事例発表等も行いました。
	情報発信	・要介護者等が適切な介護サービスを選択出来るよう、介護サービス情報公表報告システムで、情報を公表しています。
福祉人材に対する基本姿勢	人材マネジメント	・理念の周知徹底を実施しています。
	人材の定着	・相談や情報共有情報交換を行い、困難事例等1人で抱えずストレスに繋がらないよう留意しています。 ・業務改善の見直しを行い、業務の負担軽減に努めています。
	人材の育成	・成長支援制度、各種研修会、地域リーダー研修等へ参加し質の向上やステップアップを実施しています。 ・主任介護支援専門員研修は人数枠等の関係で平成30年度は不参加、平成31年度に参加します。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・就業規則の周知・実施。介護保険制度の周知等を行い、法令を遵守し適正なケアマネジメント、運営を行っています。 ・2月には保険者による実施指導、ケアプランチェックがありました。

職務内容

ア ケアプラン、記録等書類の作成
イ 介護サービス事業者との連絡調整
ウ 主治医や医療との面談、医療情報の収集や生活状況の情報提供
エ アセスメント（課題分析）、モニタリング（評価）の実施
オ サービス担当者会の開催
カ 利用者宅、サービス事業所訪問
キ 介護相談
ク 介護支援専門員実務研修等見学実習の受け入れ
ケ 他、居宅介護支援業務に関わる事

(3) 利用者利用状況等

月	介護保険				介護予防			
	男	女	計	居宅介護支援費	男	女	計	介護予防委託料
4	26	58	84	1,188,920	3	8	11	47,300
5	27	61	88	1,246,890	4	8	12	51,600
6	22	63	85	1,206,300	6	6	12	57,600
7	20	64	84	1,201,070	6	6	12	54,600
8	20	60	80	1,141,800	7	8	15	70,500
9	20	63	83	1,182,090	6	8	14	60,200
10	24	63	87	1,239,510	6	9	15	67,500
11	25	65	90	1,284,950	6	9	15	64,500
12	25	63	88	1,251,040	6	9	15	64,500
1	24	67	81	1,145,180	6	9	15	64,500
2	23	67	80	1,149,950	5	9	14	60,200
3	24	65	79	1,127,120	5	9	14	60,200
総計	280	729	1009	14,364,820	66	98	164	723,200

居宅介護支援利用者介護度別 (H31年3月末現在)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
5	9	31	33	7	4	4

*要支援1は、総合事業事業対象者も含む。

(4) 毎月の業務

介護保険事業所連絡会	提供票交換会・各事業所情報交換
西予市介護支援専門員連絡会	勉強会、情報交換（奇数月）
主任ケアマネ連絡会	勉強会、情報交換（偶数月）
国保事務請求	給付管理・介護給付費請求事務
自宅訪問	本人の様子観察・家族本人の要望等の把握（最低月1回）
利用票・提供票の作成	次月の利用票・提供票の作成
利用票の配布	利用者・家族に利用票の配布・捺印を頂く
提供票の配布	各事業所に提供票の配布
モニタリング	各利用者のモニタリング（月1回）
介護支援経過の記録	各利用者の支援記録
病院との連携	野村病院週1回（木）カンファレンス出席 その他の病院は、随時訪問 入院時等、医療介護連携シートの提出
事業所内の伝達等会議の開催	週1回開催
各種勉強会、研修会への出席	ケアマネ研修、居宅介護支援に関する研修他

(5) 職員研修

プライバシー保護に関する研修	個人情報の重要性の再認識
倫理、法令遵守、権利擁護研修	知識を深める
介護支援専門員特別研修	専門知識の習得や質の向上を図る
認知症、認知症ケアに関する研修	認知症への理解を深め、実践に活かす
地域包括支援センター主催の研修や事例検討会	ケアマネジメントの質の向上を図る
県や市町、医療機関主催の研修	高齢者支援全般に関する学ぶ
法人共同事例検討会、研修会	地域のケアマネジメント機能の向上を図る
地域リーダー養成研修	地域包括ケアシステム構築のため、主任介護支援専門員の資質向上を図る

懇親会高齢者生活福祉センター事業報告

(1) 行動指針

「一期一会の縁を大切にします」

① 働くことの意義

私たちは、日々の仕事を通じて、人生を豊にします

② 社会への貢献

私たちは、地域とともに、地域のために行動します

③ 法令・社会規範の遵守

私たちは、高い倫理観を持ち、公正・誠実に行動します

④ 働きやすい職場風土

私たちは、共に働く仲間を尊重し、明るい職場を創ります

⑤ 顧客起点

私たちは、利用者様の立場で考え方をもって行動します

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	・声掛けに気を付けるよう職員間でも注意できる環境に取り組みました。
	サービスの質の向上	・誕生日には手作りの写真立てをプレゼントしたり、レクリエーション用品の購入をしてレクリエーションの向上を図り楽しく利用できるようサービス向上を行いました。
	地域との関係の向上	・船戸地区の花見にセンター長が参加しました。デイサービスでは地方祭の参加や小学校、幼稚園の交流会を行いました。
	生活環境・利用環境の向上	・玄関先に縁台を設置して靴を履きやすい環境にしました。また、危険箇所を予知して安全に過ごせる環境にしました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	・診療所の移動により送迎サービスは中止となりました。
	情報発信	・運営推進会議の開催とキントーンでの情報発信を行いました。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメント	・業務分担表を作成して各職員の業務のスリム化を図りました。
	人材の確保	・定期的な懇親会を行い職員間のコミュニケーションを図りました。
	人材の定着	・リフレッシュ休暇など各自が事前に申し込み計画的に取得できるよう努めました。また定期的に懇親会を行いました。
	人材の育成	・内部研修会や外部研修会に参加して職員のスキルアップを図りました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・守秘義務の徹底を行いました。
	健全な財務規律の確立	・全職員がコスト意識を持ちコストダウンに努めました。データベース稼働率アップを目標に機能訓練や啓発活動を取り組みました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修	そ の 他
4月	誕生会 レクリエーション外出(花見)	施設長講話	舟戸分館花見
5月	誕生会 レクリエーション外出(郷のぼり)		
6月	誕生会	食中毒研修	防災研修会
7月	七夕飾り 誕生会		7月7日、8日県道野村柳谷線通行止め。9日断水にてディサービス休業。
8月	誕生会	救急救命講習	
9月	避難訓練 誕生会		感染症研修会
10月	秋の遠足 地方祭見学	虐待防止研修	
11月	紅葉見学 小学校交流会		
12月	クリスマス会 誕生会 門松見学 非常災害避難訓練	リスクマネージメント	認知症研修会
1月	初詣 誕生会		リスクマネージメント研修会
2月	節分、豆まき	事故発生防止研修	在宅ケア研修会
3月	避難訓練・誕生会 小学校交流会		
毎月	誕生会、惣川職員会		
毎日	体操、リハビリ体操、口腔体操		

(2) 通所介護事業

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	379	263	69.4%	77.5%
5	414	285	68.8%	74.2%
6	378	276	73.0%	78.3%
7	378	274	72.5%	69.0%
8	360	261	72.5%	73.8%
9	360	271	75.3%	85.2%
10	414	303	73.2%	78.0%
11	396	306	77.0%	72.0%
12	360	284	78.9%	68.1%
1	360	223	61.9%	61.7%
2	360	232	64.4%	63.9%
3	378	253	66.9%	66.2%
合計	4,537	3,230	71.2%	72.3%

利用定員 18名

1日平均利用 12.9人

営業日 月曜日から金曜日の週5日 (8月14日、15日と12月29日から1月3日を除く)

介護度状況(平成30年4月末現在)

総合事業含む

介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	要支援1	要支援2
8	1	0	1	0	40	11

男性13名 女性48名 平均介護度 1.4

特別養護老人ホーム しいのき園

(1) 行動指針

『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』

- ① 安心安寧な生活の提供と維持に努めます。
- ② 基本的人権を尊重したサービス提供に努めます。
- ③ 自分たちが利用したい施設を目指します。
- ④ 社会資源として地域に貢献します。
- ⑤ 常に職員の資質向上に励み、良質なサービス提供に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none">・毎月、身体拘束対策適正化委員会を開催し、検証及び拘束介助へ向けての取り組みを行いました。・毎月、虐待対策委員会を開催し、グレーゾーンの洗い出しを行い、虐待ゼロに努めました。・国内研修で、身体拘束・虐待対策に関する勉強会を行うと共に、今年度は、全職員を対象に、虐待に関するアンケートを実施して、虐待ゼロへの職員の意識付けを行いました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none">・利用者一人一人のニーズを探り、個々に合ったプラン（ハッピープラン）の実現に努めました。・お客様満足度アンケートを実施し、利用者や家族の意向の確認を行い、意向に沿ったサービスに努めました。・年3回の広報誌で担当者からの家族への近況報告や、看護師からの状態変化時の報告など、こまめに連絡をとり、信頼関係の構築に努めました。・家族会総会・バイキング昼食などで、家族との交流を行いました。・管理栄養士を中心に栄養マネジメントを適切に実施し、食事委員会にて利用者の嗜好を献立に反映させ、喜ばれる食事の提供を行いました。・給食委託業者と連携し、安心・安全で、個々の利用者に合った食事の提供に努めました。・一緒におやつ作りやユニット食作りを行い、作る楽しみと共に、匂いなど五感で食事を楽しんでもらいました。・それぞれの誕生日には、ケーキと共にカードを添えてお祝いし、写真撮影なども行いました。・旬の食材や行事食を提供し、季節を感じて頂きました。
利用者・家族に対する基本姿勢		<ul style="list-style-type: none">・1名の利用者が、インフルエンザに罹患したが、早急に感染症対策を徹底し、蔓延を予防することができました。・看護師や介護職員など多職種が連携し、健康状態の把握に努め、状態変化への早期発見・早期対応により、前年度より入院者が減少しました。

重点項目		平成30年度取組報告
地域との関係向上		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、小中学校の学生ボランティアや地域のボランティアを積極的に受け入れ、交流を持つことができました。 ・乙亥まつりなど地域行事へ積極的に参加し交流を図りました。 ・法人主催の清掃作業やふれあい館祭りに参加し、地域貢献と地域交流を行いました。 ・広報誌「しいのき」を年3回発行したり、ホームページにて情報の開示に努めました。 ・近隣住民との交流として毎年実施している「夕涼み会」が、西日本豪雨災害のため、中止となり、今年度は近隣住民の皆さんとの交流の機会を持つことができませんでした。 ・災害時の協力体制として、近隣地域（椎の木、山本、上野）と災害時における応援や避難経路の説明を行い、避難体制の確立ができました。
生活環境・利用環境の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、各ユニット毎に福祉機器の点検を行い、修繕箇所や危険箇所の速やかな対応を行うことで事故に繋がらないよう努めました。 ・危険性の高い利用者に対して、事故防止のための福祉器具の購入を進めました。（超低床ベット・センサーマットなど）
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・野村小学校、野村中学校へ出向き、「出前講座」を実施し、将来の野村町を担う小中学生に対し、介護への興味を持たせました。
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「しいのき」を年3回発行し、地域・関係機関に情報を提供した。また、ホームページにおいても国内の様子等を随時アップし情報公開に努めました。 ・家族からの苦情が1件あり、それに対しての対応策を検討し、全職員に周知徹底すると共に、ご家族への報告とホームページでの公表を行いました。
福祉人材に関する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修で、職員一人一人のスキルアップを目指した研修を計画的に実施しました。 ・専門的な知識や技術を習得するため、外部研修に積極的に参加しました。
	人材確保に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・野村高校への「出前講座」に、若手職員が参加し、経験談などを話すことで、介護への興味を深めてもらうきっかけ作りができました。
	人材定着に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員がリフレッシュ休暇を取得できるよう、計画的に勤務に組み入れ、取得率のアップにつながりました。 ・職員互助会などを通じて、定期的に職員同士の交流と親ぼくを深めました。 ・サービスの向上と共に、働きやすい職場環境を整えるため、業務改革委員会を立ち上げて検討し、改革への足掛かりを次年度へつなげました。 ・全職員対象の健康診断を5月に実施し、夜勤業務に携わる職員は11月に2回目の検診を実施した。検診結果を各職員に配布して、健康維持への意識付けを行いました。 ・安全衛生委員会にて、全職員の労働災害防止や健康管理を目的に、環境整備や器具の不具合について検証、整備を行いました。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・エルダー制度を通じて、新任職員の育成と、先輩職員の成長を促すことができました。 ・成長支援制度の仮運用を通じて、それぞれの職員が目標をもって取り組み、振り返りを行いました。
	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象に、職員会や内部研修において法令遵守についての研修を行い、コンプライアンスの徹底に努めました。

マネジメントに対する基本姿勢	重点項目	平成30年度取組報告	
		健全な財務規律の確立	
		<ul style="list-style-type: none"> ・安定経営のために適正収入の確保として稼働率95%以上を目標に取り組み、今年度は入院者が減少したり、早期の入所案内などで、稼働率97.6%を達成する事ができました。 ・介護用品に関しては、勉強会を専門業者の指導を受けながら実施した。また、光熱水費に関しては、電力会社の変更と共に、デマンド等を利用して、全職員にコスト削減の意識付けを行い、若干ではあるが削減につながりました。 	

(3) 行事報告

月	行 事	研修(OJT)	その 他
4月	お花見 お楽しみ外出	新任職員研修 身体拘束・虐待防止 事故防止・個人情報 の各研修	成長支援制度目標設定 西予市老施協総会 南予老施協第1回総会 家族会第1回役員会
5月	里帰り 西予市老施協合同遠足 5月人形かざり 火災避難・消防訓練	AED講習・酸素・吸引器 の取り扱い研修	家族会総会 健康診断(全員) 愛媛県老施協第1回総会 広報誌63号発行
6月	あじさい杯(風船バレー) 里帰り・お楽しみ外出	感染症・食中毒予防の 研修	出前講座(野村高校)
7月	そうめん流し・里帰り	介護技術研修	
8月	夕涼み会、お盆帰省 七夕飾り・七夕杯(レク) 野村ダム花火見学 高校生との交流・里帰り	看取り研修	夏休みボランティア受け入れ
9月	敬老会・芋焼き 西予市老施協演芸大会 夜間避難訓練	禰祉対策研修	広報誌64号発行
10月	秋まつり見学 保育所との交流・里帰り 風水害避難訓練	感染予防研修	出前講座 (野村高校・野村小学校) 西予市老施協職員交流会
11月	乙亥大相撲観戦 秋季運動会 インフルエンザ予防接種	排泄ケアに関する研修	出前講座(野村中学校) 健康診断(夜勤者)
12月	忘年会・餅つき イルミネーション見学 地震避難訓練 クリスマス飾り	事故防止(危険予知) 研修	大掃除(家族会・ボランティア) シェイクアウトえひめ
1月	お年とり・新年会 初詣・魚釣り大会	資質向上の為の研修	広報誌65号発行
2月	節分豆まき・恵方巻き 防犯訓練	園内実践発表	
3月	雛かざり		火災避難訓練 愛媛県老施協第2回総会 南予老施協第2回総会

毎月	運営委員会、ユニット会議、各専門委員会（サービス向上、企画・編集、衛生対策、食事、危機管理、事故防止対策、身体拘束、虐待対策）介護マイスター、クラブ活動、内科検診、選択メニュー、喫茶らしいのき、散髪・美容、高齢者部会介護技術伝達講習会
定期	職員会、内部研修、各専門委員会（内部研修、エルダー、感染症対策、入所検討医療行為対策、安全衛生推進、防災対策）法人各委員会
随時	里帰り、イベント外出、バイキング、地域交流、健康診断、歯科検診、避難訓練相談・苦情対策委員会、食中毒対策緊急会議（緊急時）
毎日	ミーティング

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,500	100.0%	96.8%
5	1,550	1,539	99.3%	94.9%
6	1,500	1,474	98.3%	89.7%
7	1,550	1,500	96.8%	93.3%
8	1,550	1,454	93.8%	95.8%
9	1,500	1,428	95.2%	98.8%
10	1,550	1,507	97.2%	96.6%
11	1,500	1,460	96.7%	96.5%
12	1,550	1,526	98.5%	96.6%
1	1,550	1,499	96.7%	96.0%
2	1,400	1,398	99.9%	96.1%
3	1,550	1,534	99.0%	98.8%
合計	18,250	17,809	97.6%	96.2%

入所者要介護度別 (H31年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	0	1	21	28

平均介護度 4.54

男性 13名 女性 37名

平均年齢 87歳

短期入所生活介護事業所 しいのき園

(1) 行動指針

『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』

- ① 安心安全な生活の提供と維持に努めます。
- ② 基本的人権を尊重したサービス提供に努めます。
- ③ 自分たちが利用したい施設を目指します。
- ④ 社会資源として地域に貢献します。
- ⑤ 常に職員の資質向上に励み、良質なサービス提供に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、身体拘束対策適正化委員会を開催し、検証及び拘束介助へ向けての取り組みを行いました。 ・毎月、虐待対策委員会を開催し、グレーゾーンの洗い出しを行い、虐待ゼロに努めました。 ・国内研修で、身体拘束・虐待対策に関する勉強会を行うと共に、今年度は、全職員を対象に、虐待に関するアンケートを実施して、虐待ゼロへの職員の意識付けを行いました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人のニーズを探り、個々に合ったプランの実現に努めました。 ・お客様満足度アンケートを実施し、利用者や家族の意向の確認を行い、意向に沿ったサービスに努めました。 ・ケアマネから家族への状況報告や、看護師からの状態変化時の報告など、こまめに連絡をとり、信頼関係の構築に努めました。 ・管理栄養士を中心に栄養マネジメントを適切に実施し、食事委員会にて利用者の嗜好を献立に反映させ、喜ばれる食事の提供を行いました。 ・給食委託業者と連携し、安心・安全で、個々の利用者に合った食事の提供に努めました。 ・一緒におやつ作りやユニット食作りを行い、作る楽しみと共に、匂いなど五感で食事を楽しんでもらいました。 ・それぞれの誕生日には、ケーキと共にカードを添えてお祝いし、写真撮影なども行いました。 ・旬の食材や行事食を提供し、季節を感じて頂きました。 ・施設入所の利用者1名が、インフルエンザに罹患したが、早急に感染症対策を徹底し、蔓延を予防することができました。 ・看護師や介護職員など多職種が連携し、健康状態の把握に努め、状態変化への早期発見・早期対応ができました。
利用者・家族に対する基本姿勢	地域との関係向上	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、小中学校の学生ボランティアや地域のボランティアを積極的に受け入れ、交流を持つことができました。 ・乙亥まつりなど地域行事へ積極的に参加し交流を図りました。 ・法人主催の清掃作業やふれあい館祭りに参加し、地域貢献と地域交流を行いました。 ・広報誌「しいのき」を年3回発行したり、ホームページにて情報の開示に努めました。 ・近隣住民との交流として毎年実施している「夕涼み会」が、西日本豪雨災害のため、中止となり、今年度は近隣住民の皆さんとの交流の機会を持つことができませんでした。 ・災害時の協力体制として、近隣地域（椎の木、山本、上野）と災害時における応援や避難経路の説明を行い、避難体制の確立ができました。

重点項目		平成30年度取組報告
生活環境・利用環境の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、各ユニット毎に福祉機器の点検を行い、修繕箇所や危険箇所の速やかな対応を行うことで事故に繋がらないよう努めました。 ・危険性の高い利用者様に対して、事故防止のための福祉器具の購入を進めました。（超低床ベット・センサーマットなど）
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・野村小学校、野村中学校へ出向き、「出前講座」を実施し、将来の野村町を担う小中学生に対し、介護への興味を持たせました。 ・通院が必要と思われる体調不良時に、ご家族の送迎が困難な場合があり、園のリフト車で病院までの送迎をサービスで行いました。 ・ショート送迎時に、それぞれの利用者に合った、移乗の方法について、足の位置などワンポイントアドバイスを行いました。
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「しいのき」を年3回発行し、地域・関係機関に情報を提供しました。また、ホームページにおいても園内の様子等を随時アップし情報公開に努めました。 ・利用者からの苦情が1件あり、それに対しての対策を協議し、全職員に徹底すると共に、利用者や家族への報告と、ホームページ等での情報の公表を行いました。
福祉人材に関する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修で、職員一人一人のスキルアップを目指した研修を計画的に実施しました。 ・専門的な知識や技術を習得するため、外部研修に積極的に参加しました。
	人材確保に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・野村高校への「出前講座」に、若手職員が参加し、経験談などを話すことで、介護への興味を深めもらうきっかけ作りができました。
	人材定着に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員がリフレッシュ休暇を取得できるよう、計画的に勤務に組み入れ、取得率のアップにつながりました。 ・職員互助会などを通じて、定期的に職員同士の交流と親ぼくを深めました。 ・サービスの向上と共に、働きやすい職場環境を整えるため、業務改革委員会を立ち上げて検討し、改革への足掛かりを次年度へつなげました。 ・全職員対象の健康診断を5月に実施し、夜勤業務に携わる職員は11月に2回目の検診を実施した。検診結果を各職員に配布して、健康維持への意識付けを行いました。 ・安全衛生委員会にて、全職員の労働災害防止や健康管理を目的に、環境整備や器具の不具合について検証、整備を行いました。
マネジメントに対する基本姿勢	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・エルダー制度を通じて、新任職員の育成と、先輩職員の成長を促すことができました。 ・成長支援制度の活用を通じて、それぞれの職員が目標をもって取り組み、振り返りを行いました。
	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象に、職員会や内部研修において法令遵守についての研修を行い、コンプライアンスの徹底に努めました。
マネジメントに対する基本姿勢	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・安定経営のために適正収入の確保として、新規利用者確保に努め、稼働率86.4%を達成する事ができました。 ・介護用品に関しては、勉強会を専門業者の指導を受けながら実施した。また、光熱水費に関しては、電力会社の変更と共に、デマンド等を利用して、全職員にコスト削減の意識付けを行い、若干ではあるが削減につながりました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	その 他
4月	お花見 お楽しみ外出	新任職員研修 身体拘束・虐待防止 事故防止・個人情報 の各研修	成長支援制度目標設定 西予市老施協総会 南予老施協第1回総会 家族会第1回役員会
5月	里帰り 西予市老施協合同遠足 5月人形かざり 火災避難・消火訓練	AED講習・酸素・吸引器 の取り扱い研修	家族会総会 健康診断(全員) 愛媛県老施協第1回総会 広報誌63号発行
6月	あじさい杯(風船バレー) 里帰り・お楽しみ外出	感染症・食中毒予防の 研修	出前講座(野村高校)
7月	そうめん流し・里帰り	介護技術研修	
8月	夕涼み会、お盆帰省 七夕飾り・七夕杯(レク) 野村ダム花火見学 高校生との交流・里帰り	看取り研修	夏休みボランティア受け入れ
9月	敬老会・芋焼き 西予市老施協演芸大会 夜間避難訓練	褥瘡対策研修	広報誌64号発行
10月	秋まつり見学 保育所との交流・里帰り 風水害避難訓練	感染予防研修	出前講座 (野村高校・野村小学校) 西予市老施協職員交流会
11月	乙亥大相撲観戦 秋季運動会 インフルエンザ予防接種	排泄ケアに関する研修	出前講座(野村中学校) 健康診断(夜勤者)
12月	忘年会・解つき イルミネーション見学 地震避難訓練 クリスマス飾り	事故防止(危険予知) 研修	大掃除(家族会・ボランティア) シェイクアウトえひめ
1月	お年とり・新年会 初詣・魚釣り(レク)	資質向上の為の研修	広報誌65号発行
2月	節分豆まき・恵方巻き 防犯訓練	園内実践発表	
3月	雛かざり		火災避難訓練 愛媛県老施協第2回総会 南予老施協第2回総会
毎月	運営委員会、ユニット会議、各専門委員会(サービス向上、企画・編集、褥瘡対策 食事、危機管理、事故防止対策、身体拘束、虐待対策) 介護マイスター、クラブ活動 内科検診、選択メニュー、喫茶しいのき、散髪・美容、高齢者部会介護技術伝達講習会		
定期	職員会、内部研修、各専門委員会(内部研修、エルダー、感染症対策、入所検討 医療行為対策、安全衛生推進、防災対策) 法人各委員会		
随時	里帰り、イベント外出、バイキング、地域交流、健康診断、歯科検診、避難訓練 相談・苦情対策委員会、食中毒対策緊急会議(緊急時)		
毎日	ミーティング		

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	225	75.0%	95.3%
5	310	259	83.5%	81.6%
6	300	264	88.0%	78.3%
7	310	240	77.4%	82.3%
8	310	242	78.1%	81.9%
9	300	253	84.3%	77.3%
10	310	253	81.6%	76.5%
11	300	279	93.0%	86.7%
12	310	302	97.4%	87.4%
1	310	287	92.6%	80.3%
2	280	257	91.8%	79.3%
3	310	273	88.1%	77.7%
合計	3,650	3,134	85.9%	82.1%

利用定員 10名
平均介護度 2.5

特別養護老人ホーム寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ① 利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ② 利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③ 法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④ 研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点事項	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待のチェックとして「自己点検シート」への記入を年2回実施予定でしたが、1回のみの実施となりました。 ・プロフィールシートを活用し、その人の生活習慣をより深く知る事に努めました。 ・「〇〇がしたい」、「〇〇へ行きたい」などの、ハッピープランを実現することで、QOLの向上に努めました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの第三者評価の2020年受審に向けて、事業所間でサービスの見直しを行いました。 ・顧客満足度調査を実施し、利用者、家族の意向を確認する事で、サービス内容の検討と見直しが行えました。 ・老施設等の研修会については、計画的な参加が行えました。 ・その他の研修会についても、研修案内を掲示する事で、任意での参加に繋がり、個々のスキルアップが図れました。 ・介護福祉士3名、第二種衛生管理者1名資格取得、認知症介護実践者研修1名
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加と地域ボランティア団体の受入を積極的に行うことで、地域住民およびボランティアと、利用者との交流を図る事が出来ました。 ・地域住民と合同で夜間避難訓練を行いました。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉機器の点検整備を定期的に実施し、併せて計画的な購入を行うことで、福祉機器の整備が図れました。 ・利用者の居場所作りとして、これまでの喫茶コーナーに加え、シアタールームを新たに設置。また、苑内各所に休み処を設け、くつろげる空間づくりに努めました。 ・経年劣化に伴う老朽化により、大型洗濯機の買い替えを行いました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度延べ利用者数2名。
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「ひだまり」年3回発行する事が出来ました。 ・苑内外での様子を定期的にブログにて発信する事が出来ました。 ・ブログと広報誌を通じて、苦情解決結果を公表しました。 ・開苑30周年記念誌の発行が出来ました。

区分	重点事項	平成30年度取組報告
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念と基本方針の周知徹底を図るため、ミーティングおよび各委員会にて唱和を行いました。 ・業務の標準化および共有化を図るためにマニュアルの整備について、計画的に進めることができなかつたため、今後も継続的に整備を行います。
	人材の確保に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・介護への理解、興味を持つてもらえるよう、野村高校出前講座を2回実施しました。 ・地域ボランティアの受け入れを行い、利用者様との交流を図ることが出来ました。
	人材の定着に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・エルダー制度を活用し、新人および新任職員9名の育成を実施しました。 ・毎月の安全点検日に危険個所の洗い出しを行い、労働環境の整備に努めました。 ・互助会の様々な行事を通して、職員間の交流を図りました。 ・成長支援制度において、チーム目標の設定を行い、個別目標を掲げることで、チーム力向上に努めました。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士目標80%以上に対し、実績63%。(年度末に3名が資格取得) ・喀痰吸引研修資格取得：4名。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会において、関連制度の確認を行い法令遵守を図りました。 ・マニュアルの見直しについては、十分とは言えない状況なので、今後も継続的に見直しを行います。
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会において、毎月主要コストの検証を行いました。また、職員会等において、コスト状況を定期的に職員へ周知する事で、コスト削減意識の向上を図ることが出来ました。 ・取得可能な新規加算の取得に努めると共に、更に新規加算取得に向けた準備を行っています。

(3) 行事報告

月	行 事	研修(OJT)	そ の 他
4月	苑内お花見 龍沢寺花祭り参拝 利用者外出(6件/12名) 里帰り(1件/1名)	新任職員研修：7名 医療行為研修：40名	日の寄進ボランティア：4名 職員会 成長支援チーム前期目標設定
5月	西予市老施協遠足(雨天中止) 防災訓練(消火訓練) 健康診断(利用者・職員) 利用者外出(4件/9名) 里帰り(1件/1名)	高齢者虐待防止および認知症ケア：40名 RX組介護塾①：10名	「ひだまり」25号発行 家族会総会(25家族) 退職女性教職員の会ボランティア：5名 キラクふれあいフォトコンテスト大賞授与
6月	避難訓練(地震想定) 利用者外出(1件/4名) 里帰り(1件/1名)	感染症及び食中毒の予防及び虫ん延防止：39名	日本舞踊ボランティア：1名 野村高校出前講座 職員会

月	行 事	研修(OJT)	その 他
7月	※7/7：西日本豪雨災害により、停電および断水。非常食対応(～9日) ※7/9：老施協からの救援物資搬入及び他施設へ搬出		
	利用者外出(2件/3名)	褥瘡対策・事故発生対策：34名	城川中学校交流会：3名
8月	利用者外出(4件/7名) 里帰り(2件/2名)	看取り介護の実践：40名 RX組介護塾②：10名	職員会
9月	苑内敬老会 利用者外出(2件/2名) 里帰り(1件/1名)	RX組介護塾③：10名	成長支援チーム前期目標振り返り及び後期目標設定 大型洗濯機購入
10月	西予市老施協演芸大会 園苑30周年記念行事(25家族) 秋祭り見学 地域住民合同避難訓練(夜間想定) 利用者外出(2件/4名) 里帰り(1件/1名)	感染症及び食中毒の予防及びまん延防止：38名	野村高校出前講座 城川オカリナサークル来苑 職員会
11月	地方祭(牛鬼、五鹿、神輿来苑) 奥伊予ふるさと祭り見学 城川中学校文化祭見学 県知事選挙期日前投票 野村乙亥祭り見学 利用者外出(7件/22名)	救命講習(AED)：38名 RX組介護塾④：10名	「ひだまり」26号発行 インフルエンザ予防接種(利用者・職員)
12月	中筋地区大門松見学 クリスマス会 利用者外出(2件/4名)	身体拘束排除・褥瘡対策：41名 苑内継続研修発表会：41名	家族会奉仕活動 フラダンスボランティア来苑 しろかわ保育所餅つき交流会 シニアボランティア来苑 宇和島老人クラブみかん懇問 職員会
1月	防犯訓練 初詣 利用者外出(7件/13名)	高齢者虐待防止、事故発生防止、契約書等説明：32名	「ひだまり」27号発行
2月	里帰り(1件/1名)	RX組介護塾⑤：10名	屋根補修工事開始 公用車新規購入(2台) 職員会 成長支援チーム後期目標振り返り
3月	ふれあい館のつどい 利用者外出(9件/14名)	授食嚥下に関する研修：30名	屋根補修工事終了
毎月	運営委員会・介護士会・バイキング・誕生会・各専門委員会(給食、褥瘡対策、感染症対策、危機管理、事故防止対策、身体拘束廃止、虐待対策、サービス向上、衛生管理、食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修) 介護マイスター勉強会・高齢者部会介護技術伝達講習会・安全点検		

定期	入所検討委員会（3ヶ月毎）・カンファレンス・エルダー委員会 環境整備（3ヶ月毎）・消防訓練（3ヶ月毎） 内科回診（月・木）・精神科回診（第3火曜日）
随時	避難訓練・防犯訓練・地域行事外出・交流会・ふるさと訪問・内部研修会 法人研修会・職員会・食中毒対策緊急会議・相談苦情対策委員会
毎日	朝礼・ミーティング・ストレッチ体操、ハイタッチ運動

（4）利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,403	93.5%	93.8%
5	1,550	1,513	97.0%	96.4%
6	1,500	1,469	97.9%	97.1%
7	1,550	1,490	96.1%	97.7%
8	1,550	1,487	95.9%	96.4%
9	1,500	1,468	97.9%	91.1%
10	1,550	1,523	98.3%	93.2%
11	1,500	1,461	97.4%	95.6%
12	1,550	1,509	97.4%	97.1%
1	1,550	1,495	96.5%	96.6%
2	1,400	1,317	94.1%	98.5%
3	1,550	1,519	98.0%	95.6%
合計	18,260	17,654	96.7%	96.7%

利用者要介護度別 (H31年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	2	6	19	23

平均介護度 4.18

平均年齢 84.0歳

男性 16名 女性 34名

短期入所生活介護事業所寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ① 利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ② 利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③ 法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④ 研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点事項	平成30年度取組報告
利用者家族に対する基本姿勢	人権の尊重	・特養と同様の内容にて実施。
	サービスの質の向上	・特養と同様の内容にて実施。 ・居宅ケアマネから提供されるケアプランに沿って、介護および看護が連携し利用者の心身機能の維持に努めました。 ・利用者の在宅生活の維持を目的とし、家族の意向および利用者の負担を考慮しながら居宅ケアマネと適宜調整を行い、家族の介護負担軽減に努めました。
	地域との関係の向上	・特養と同様の内容にて実施。
	生活環境・利用者環境の向上	・特養と同様の内容にて実施。 ・利用時は、在宅での生活環境に近付けた居室環境作りを行い、安心して安全に生活して頂けるよう努めました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	・特養と同様の内容にて実施。
	信頼と協力を得るための情報発信	・特養と同様の内容にて実施。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	・特養と同様の内容にて実施。
	人材の確保に向けた取組の強化	・特養と同様の内容にて実施。
	人材の定着に向けた取組の強化	・特養と同様の内容にて実施。
	人材の育成	・特養と同様の内容にて実施。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・特養と同様の内容にて実施。
	健全な財務規律の確立	・特養と同様の内容にて実施。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月	苑内お花見		職員対象の研修等は、特養と同様の内容にて実施。
5月	防災訓練 健康診断（職員）		
6月	避難訓練（地震想定）		
7月	※ 7/7：西日本豪雨災害により、停電および断水。非常食対応（～9日） ※自宅浸水による緊急利用者：1名（5日間） ※状況を踏まえての利用中止者：数名		
8月			
9月	苑内敬老会		
10月	開苑30周年記念行事 地域住民合同避難訓練（夜間想定）		
11月	地方祭（牛鬼、五鹿、御輿来苑）		
12月	クリスマス会		
1月	防犯訓練		
2月	節分行事		
3月	雑餉り		
毎月	運営委員会・介護士会・バイキング・誕生会・各専門委員会（給食、褥瘡対策、感染症対策、危機管理、事故防止対策、身体拘束廃止、虐待対策、サービス向上、衛生管理、食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修） 介護マイスター勉強会・高齢者部会介護技術伝達講習会・安全点検		
定期	カンファレンス・エルダー委員会 環境整備（3ヶ月毎）・消防訓練（3ヶ月毎）		
随時	避難訓練・防犯訓練・地域行事外出・交流会・ふるさと訪問・内部研修会 法人研修会・職員会・食中毒対策緊急会議・相談苦情対策委員会		
毎日	朝礼・ミーティング・ストレッチ体操、ハイタッチ運動		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	201	67.0%	78.7%
5	310	251	81.0%	81.0%
6	300	245	81.7%	86.3%
7	310	263	84.8%	82.9%
8	310	264	85.2%	69.4%
9	300	251	83.7%	79.7%
10	310	271	87.4%	91.9%
11	300	248	82.7%	96.7%
12	310	291	93.9%	87.4%
1	310	245	79.0%	81.9%
2	280	231	82.5%	90.7%
3	310	269	86.8%	73.9%
合計	3,650	3,030	83.0%	83.4%

利用定員 10名
平均介護度 2.4

デイサービスセンター寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ① 利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ② 利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③ 法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④ 研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点事項	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	・虐待のチェックとして「自己点検シート」への記入を年2回実施予定でしたが、1回のみの実施となりました。
	サービスの質の向上	・特養に準じて実施しました。 ・居宅ケアマネから提供されるケアプランを基に作成した通所介護計画書に沿って、介護および看護が連携し利用者の心身機能の維持に努めました。 ・利用者の在宅生活の維持を目的とし、家族の意向および利用者の負担を考慮しながら、居宅ケアマネと適宜調整を行い、家族の介護負担軽減に努めました。 ・利用者に対する職員個々の気づきを、ミーティング等で報告する事で、情報の共有を図れました。
	地域との関係の向上	・地域ボランティア団体の受入を積極的に行うことで、地域住民およびボランティアと、利用者との交流を図る事が出来ました。
	生活環境・利用環境の向上	・福祉機器の点検整備を定期的に実施し、併せて計画的な購入を行うことで、福祉機器の整備が図れました。 ・将来的な浴室と便所の改修に向けた検討を、継続的に行う事が出来ました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	・入浴サービス利用実績(15回/年) ・お試しデイサービス利用実績(15名/年)
	信頼と協力を得るために情報発信	・広報誌「デイサービスセンター寿楽苑通信」を年3回発行する事が出来ました。 ・開苑30周年記念誌の発行が出来ました。 ・苦情の公表については、広報誌での公表が出来ず、ブログのみでの公表でした。
福祉人材に対する基本	人材のマネジメントの推進	・法人理念と基本方針の周知徹底を図るため、ミーティングおよび各委員会にて唱和を行いました。 ・業務の標準化および共有化を図るためのマニュアルの整備について、計画的に進めることができなかつたため、今後も継続的に整備を行います。
	人材の確保に向けた取組の強化	・地域ボランティアの受け入れを行い、利用者との交流を図ることが出来ました。

姿勢	重点事項	平成30年度取組報告
	人材の定着に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・エルダー制度を活用し、新任職員2名の育成を実施。 ・互助会の様々な行事を通して、職員間の交流を図りました。 ・成長支援制度において、チーム目標の設定を行い、個別目標を掲げることで、チーム力向上に努めました。
マネジメントに対する基本姿勢	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士目標80%以上に対し、実績89%。
	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会において、関連制度の確認を行い法令遵守を図りました。 ・マニュアルの見直しについて、十分とは言えない状況なので、今後も継続的に見直しを行います。
健全な財務規律の確立		
		<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会において、毎月主要コストの検証を行いました。また、職員会等において、コスト状況を定期的に職員へ周知する事で、コスト削減意識の向上を図ることが出来ました。 ・取得可能な新規加算の取得に努めると共に、更に新規加算取得に向けた準備を行っています。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	その他の活動
4月	苑内お花見	職員対象の研修等は、特養と同様の内容にて実施。	特養との合同職員会 成長支援チーム前期目標設定
5月	健康診断(職員) 防災訓練(消防訓練)		広報誌(春号)発行
6月			特養との合同職員会
7月	※7/7：西日本豪雨災害。 ※停電および断水。非常食対応(～9日) ※緊急利用者：1名のみ受入。10日より通常営業。 そうめん流し 七夕まつり		
8月			特養との合同職員会
9月			成長支援チーム前期目標振り返り及び後期目標設定
10月	開苑30周年記念行事 地域住民合同避難訓練(夜間想定)		広報誌(秋号)発行 特養との合同職員会
11月	地方祭(牛鬼、玉鹿、御輿来苑)		インフルエンザ予防接種(職員)
12月	クリスマス会		特養との合同職員会
1月	新年会 防犯訓練		広報誌(新年号)発行
2月	節分行事		特養との合同職員会 成長支援チーム目標後期振り返り
3月	ひなまつり		

毎月	運営委員会・デイ職員会・誕生会・各専門委員会（給食、搬送対策、感染症対策、危機管理、事故防止対策、身体拘束廃止、虐待対策、サービス向上、衛生管理、企画・広報、内部研修） 介護マイスター勉強会・高齢者部会介護技術伝達講習会・安全点検
定期	環境整備（3ヶ月毎）・エルダー委員会
随時	避難訓練・交流会・内部研修会・法人研修会・合同職員会・相談苦情対策委員会・食中毒対策緊急会議
毎日	朝礼・終礼

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	625	425	68.0%	73.9%
5	675	479	71.0%	79.7%
6	650	464	71.4%	82.6%
7	625	467	74.7%	76.6%
8	675	495	73.3%	69.2%
9	625	494	79.0%	74.3%
10	675	571	84.6%	71.5%
11	650	530	81.5%	67.8%
12	625	505	80.8%	71.5%
1	625	394	63.0%	62.6%
2	600	416	69.3%	67.2%
3	650	467	71.8%	67.0%
合計	7,700	5,707	74.1%	72.0%

利用定員 25名

1日平均利用 18.6人

営業日 月曜日から土曜日の週6日

介護度状況（平成31年 3月末現在）

事業対象者	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
1	1	5	27	21	10	9	11

平均介護度 2.2 (要支援・第1号対象者を除く)

(1) 行動指針

- 『笑顔で よりそい ささえあう』
- ① 入所者の意思及び人格を尊重します。
 - ② 家族との結びつきを大切にします。
 - ③ 職員は知識及び技術の向上に努めます。
 - ④ 地域貢献に努めます。
 - ⑤ 信頼される施設を目指します。

(2) 事業報告

区分	重点項目	平成30年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	集団生活を送る中、利用者自身が自己の尊厳・権利について自覚して頂くと共に、健康で安全・安心した生活が送れることを目的とした生活のしおりを作成しました。更に、利用者・職員に配布し、十分な説明と周知を図りました。 特定施設入居者生活介護事業所開設に向けて定期的に説明会を行い、利用者・家族の理解を得ながら、段階を踏んで移行を進めました。
	サービスの質の向上	利用者の希望を取り入れ、各ユニットごとに毎月おやつ作りや外出を計画実施しました。また、満足度アンケート実施しました。
	地域との関係向上	保育所や小中学校、また地域住民を招待した大運動会を実施するなど、地域との関係向上に努めました。
	生活環境・利用環境の向上	開荘以来、居室エアコンの取り替え等を行っておらず、老朽化に伴い、70居室のうち、24居室のエアコン改修工事を行いました。又、医務室前と浴室前にアコーディオンカーテン設置工事を行い、空調整備を行いました。 特定施設入居者生活介護事業所移行に伴い、備品を購入しました。(車椅子、自立支援テーブル、3モーターベッド、平行棒等) 西日本豪雨災害で、3日間の停電、断水があり、非常時の対策を確認し、防災設備の点検、補充を行いました。災害非常時用ストックハウスを事務所前に建て、備品の確保と迅速な対応ができるよう整備、災害訓練も行いました。 防犯カメラを2台増設し、防犯訓練も実施しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	福祉避難所整備の充実(非常食を1週間分に増やしました。) 近隣地域との災害協定の声かけを行いましたが、地域の関心、反応がまだ低く話し合いまでは至りませんでした。
	信頼と協力を得るための情報発信	奥伊予のつどいの充実を図り、5回実施し、85名の参加がありました。また、消防署や四国電気保安協会など、外部講師を招いての研修会も行いました。

区分	重点項目	平成30年度取組報告
福祉人材に関する基本姿勢	人材の確保に向けた取り組み	城川小、中学校のボランティア、福祉体験の受け入れ実施を行いました。
	人材の定着に向けた取り組み	エルダー制度利用し、新任職員の育成を通じてエルダーの成長も促しました。また、内部、外部研修を計画的に取り組み、知識、技能、接遇の向上にも努めました。
	人材の育成	毎月の委員会や職員会で特定施設についての研修や討議を重ね、11/29には、10名で先進地（西条市・石鎚園）視察を行いました。 介護福祉士2名資格取得、喀痰吸引研修では、2名が修了書取得しました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	朝礼や、会議等で法令遵守の周知を図りました。
	健全な財務規律の確立	地域交流スペースの水銀灯をLED照明に交換しました。デマンド監視装置の対応周知、節水コマ6カ所増設、廊下2区間にアコードィオンカーテン設置工事を行い、節電、節水のコスト削減に努めました。 NDソフトほのぼのをH31年4月から運用できるようH31年1月末に導入しました。
	特定施設入居者生活介護事業への移行	経営の安定が図れるよう、特定施設入居者生活介護事業所移行を進め、H31年4月1日より事業開始の運びとなりました。 (利用者・家族には、5回の説明会を行い、その都度上がる疑問や不安に対応し、ご理解や協力を仰ぎました。また、ユニット・居室移動等のシミュレーションを実施、3月の認可決定後には、入所検討委員会を開き、特定施設利用者を選出し、3月末には居室移動、利用者やご家族の同意を得ながら、計画に沿い段階的に移行を進めることができました)

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	お花見 奥伊予太鼓来荘 五月人形（飾り付け） お楽しみ外出・ふるさと訪問	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 施設設備機器扱い	福寿会役員会 成長支援目標設定
5月	西予老施協合同遠足 雨天中止でホール会食 健康診断 お楽しみ外出 奥伊予のつどい	事故再発防止 リスクマネジメント 特定施設について	福寿会役員会 広報誌発行①
6月	家族会 JA年金友の会 奥伊予のつどい ほたる狩り 保育所交流・芋苗植え	脱水・食中毒、感染 介護技術	家族会総会 福寿会役員会 (風水・土砂災害)避難訓練 出前講座(野村高) 草刈り

月	行 事	研修(OJT)	そ の 他
7月	七夕飾り そうめん流し 奥伊予のつどい お楽しみ外出	介護技術 (医療器具扱い等) AED研修・心肺蘇生他 特定施設について	(昼) 火災避難訓練 福寿会役員会
8月	納涼祭 盆法要 お楽しみ外出	身体拘束・虐待防止 介護技術	草刈り 福寿会役員会
9月	敬老の式典 奥伊予のつどい お楽しみ外出	認知症ケア 介護技術 特定施設について	福寿会役員会 広報誌発行②
10月	地域交流大運動会 奥伊予のつどい 保育所交流・芋ほり 城川中学校文化祭 お楽しみ外出	介護技術 事故再発防止	(夜) 火災避難訓練 草刈り 出前講座(野村中・野村高) 福寿会役員会
11月	健康診断(夜勤者採血) 奥伊予ふるさと祭 伊予のつどい お楽しみ外出	介護技術(排泄) 身体拘束適正化 特定施設について	福寿会役員会
12月	西予市老施協合同避難訓練 クリスマス 忘年会・餅つき お楽しみ外出	介護技術(応急手当) 感染症予防	(地震)避難訓練 福寿会役員会
1月	初詣 新年会 お楽しみ外出	介護伝達実技練習 特定施設について	福寿会役員会 広報誌発行③
2月	節分 お楽しみ外出	介護技術 身体拘束適正化	福寿会役員会
3月	ひな祭り(飾り付け) 春彼岸法要 お楽しみ外出 退職異動者お別れ会	介護技術 特定施設について	福寿会役員会・総会 防犯訓練
毎月	運営委員会・職員会・給食委員会・各ユニット会・処遇委員会・企画委員会 各専門委員会(事故再発防止、身体拘束廃止・医療的ケア、虐待防止対策 感染症対策~3ヶ月1回研修、内部研修) 誕生会・ボーリング大会・フジマート販売・ユニット食・ホール喫茶		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、防災対策委員会、苦情解決委員会 内科回診(月2回)、散髪~月2回、ユニット消毒~週2回		
随時	避難訓練・地域行事外出・交流会・お楽しみ外出・クラブ・法人研修会		
毎日	体操、機能訓練(平日)		

(4) 入所者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	2,100	1,873	89.2%	96.2%
5	2,170	1,982	91.3%	97.1%
6	2,100	1,957	93.2%	99.0%
7	2,170	2,104	97.0%	99.5%
8	2,170	2,141	98.7%	95.1%
9	2,100	2,045	97.4%	91.7%
10	2,170	2,070	95.4%	91.0%
11	2,100	1,972	93.9%	91.7%
12	2,170	2,083	96.0%	91.2%
1	2,170	2,058	94.8%	88.6%
2	1,960	1,868	95.3%	92.3%
3	2,170	2,099	96.7%	90.6%
合計	26,550	24,252	94.9%	93.6%

入所者要介護度別

(H31年3月末現在)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
31	0	5	12	12	7	1	0

男性 23名

女性 45名

入所者総数 68名

措置機関別入所状況

西予市

65名

宇和島市

2名

大洲市

1名

奨学金事業

(1) 基本方針

将来、社会福祉法人西予市野城総合福祉協会に就職を希望する者を対象に、修学資金を貸与して養成事業等の修学に資することにより、事業継続のための人材確保を図り、地域福祉の増進と充実に貢献し、有為な人材を育成していきます。

(2) 重点事項

①奨学金制度の周知

愛媛県南予地区の高等学校に「奨学金のしおり」を配布しました。又、リクルート活動時に各学校で奨学金制度について説明し、ホームページや広報誌にも掲載しましたが、奨学生の申込はありませんでした。

②利用促進（奨学生の確保）

平成30年度は、4名の奨学生に年間一人60万円を貸与しました。しかし、1名が体調不良で退学しています。平成31年度の奨学生決定者はいませんでした。利用促進に繋げることが出来ませんでした。

(4) 実施事業

月	事業内容
4	HP掲載
5	南予地域の高等学校へパンフレット送付
6	協会広報誌掲載、リクルート活動
7	西予市広報誌パンフレット配布、リクルート活動
8	リクルート活動
9	協会広報誌掲載、リクルート活動
10	リクルート活動

【今後の課題及び展開】

平成31年度に実施する採用試験には、奨学生1名が受験する予定です。合格すれば、初めての奨学生が平成32年度から就職することになります。公益的な役割を果たし法人の人才培养のため、奨学制度の周知に努めます。

法人後見事業

平成30年度の受審件数は、0件でした。認知症、知的障害、精神障害などにより物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度について、行政や社会福祉協議会、他の法人後見受審法人に働きかけニーズを把握し、西予市としての取り組みについて情報の共有と、今後の在り方について協議していきます。